

令和2年度

## 訪問看護ステーションに関するアンケート調査報告書

### 【目次】

#### I. 調査概要

#### II. 調査結果の概要

#### III. 調査結果

1. 基礎データ
2. 職員の配置等について
3. 訪問看護サービスの提供状況について
4. 経営状況等について
5. 訪問看護全般について

#### IV. 参考

調査票



令和3年3月31日

埼玉県保健医療部医療人材課

一般社団法人埼玉県訪問看護ステーション協会

## I. 調査概要

### I. 調査目的

2025 年に向けて地域包括ケアシステム構築の推進、さらには在宅医療体制の強化を図る中で、訪問看護にする今後の施策の参考とするため、埼玉県内の訪問看護ステーションの現状や課題を把握する。

### II. 調査内容

1. 基礎データ
2. 職員の配置等について
3. 訪問看護サービスの提供状況について
4. 経営状況等について
5. 訪問看護全般

### III. 調査実施概要

#### (1) 調査対象

埼玉県内のすべての訪問看護ステーション 499事業所(令和2年9月1日現在)

#### (2) 調査時期

令和2年9月

#### (3) 調査方法

埼玉県訪問看護ステーション協会が埼玉県から委託を受けて、郵送にて調査票を送り、インターネットかファックスで回収を行った。

#### (4) 回収結果

回収率 34.3%(有効回収数 171事業所)

医療圏	区域内市町村	ステーション数	回収数	回収率
南部	川口市・蕨市・戸田市	46	16	34.8
南西部	朝霞市・志木市・和光市・新座市・富士見市・ふじみ野市・三芳町	50	14	28.0
東部	春日部市・草加市・越谷市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町	66	25	37.9
さいたま	さいたま市	94	30	31.9
県央	鴻巣市・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町	34	11	32.4
川越比企	川越市・東松山市・坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・滑川町・嵐山町・小川町・川島町・吉見町・鳩山町・ときがわ町・東秩父村	58	19	32.8
西部	所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市	62	22	35.5
利根	行田市・加須市・羽生市・久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町	40	15	37.5
北部	熊谷市・本庄市・深谷市・美里町・神川町・上里町・寄居町	41	12	29.3
秩父	秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町	8	6	75.0
無回答		0	1	
県全体(合計)		499	171	34.3

《参考① 調査結果の見方》

- 回答比率（％）は、小数点以下を四捨五入したため、個々の比率の合計は 100％にならないことがあります。平均値についても同様です。
- グラフの中で「n」とあるのは、その質問の有効回答者の総数を示し、回答比率は「n」を基数として算出しています。
- 複数回答の質問については、その回答比率の合計は 100％を超えることがあります。

《参考② 埼玉県内の訪問看護に関するデータ》

- 県内の訪問看護ステーションに従事する看護職員数（実人員）

☒

平成 18 年	平成 20 年	平成 22 年	平成 24 年	平成 26 年	平成 28 年	平成 30 年
1,183	1,097	1,162	1,302	1,583	2,133	2,458

出典：「衛生行政報告例」（各年 1 2 月 3 1 日現在）

※看護職員数は、「保健師」「助産師」「看護師」「准看護師」の合計数

- 県内の訪問看護ステーション数

（単位：ステーション）

平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
263	304	337	372	391	424	476

出典：「埼玉県内介護サービス事業所の指定状況」（各年 3 月 1 日現在）

- 県内の訪問看護利用者数

（単位：人）

	平成 27 年	平成 29 年	令和元年
ア 医療保険分	6,400	9,400	12,800
イ 介護保険分	13,500	17,100	20,900
合 計	19,900	26,500	33,700

出典：ア 厚労省「訪問看護療養費実態調査」（平成 27 年、平成 29 年、平成 31 年 6 月請求分）

イ 厚労省「介護給付費等実態調査」（平成 27 年、平成 29 年、平成 31 年 6 月請求分）

## II. 調査結果の概要

### 1. 基礎データ

- アンケート回答 令和2年度 171 施設であった。

### 2. 職員の配置等について

- 訪問看護ステーション(事業所)の看護職員数(常勤換算)は、「5人未満」のステーションが48%と5割を割っており、1事業所の看護職員数(常勤換算)の平均は5.3人となっている。
- 機能強化型訪問看護ステーションの要件の一つである、看護職員数(常勤換算数)については、5人以上7人未満のステーションが22.2%で、「7人以上」が25.7%となっている。
- 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のいずれかを配置しているステーションは、57%、事務職員を配置しているステーションは84%となっている。
- 各ステーションにおいて看護職員が確保できているか(充足しているか)については、「確保できている」49.7%、「確保できていない」が50.3%となっている。

### 3. 訪問看護サービスの提供状況について

- 1事業所あたりの平均利用者数は、91.9人であり、内訳として、介護保険は60.6人、医療保険31.3人であり、概ね2:1となっている。
- 1事業所あたりの平均訪問回数は、562.8回であり、看護職員が400.3回、理学療法士等(PT.OT.ST)が162.6回となっている。
- 「(介護保険)ターミナルケア加算」を届出しているステーションは84.6%であり、「(医療保険)ターミナルケア療養費」を届け出ているステーションは、85.5%であった。直近1年間「(介)ターミナルケア加算」の算定人数の平均は1.5人(1事業所あたり)、「(医)ターミナルケア療養費」の算定人数の平均は1.1人(1事業所あたり)であった。
- 24時間対応については電話及び必要に応じて訪問するステーションが89.5%、対応していないステーションが7.6%となっている

### 4. 経営状況等について

- 利用者の受け入れ状況については「依頼数は受け入れ可能数に比べてちょうどよい」が34.7%と最も高かったが「依頼数は受け入れ可能数に比べて少ない」28.2%と僅差である。
- 直近1年間においてサービスを断ったことのあるステーションは54.1%であり、その理由としては「職員不足によって対応ができなかった」59.1%、次に「移動距離が長かったため」が50.5%となっている。
- 直近の事業年度末決算における収支状況について、黒字のステーションが54.4%、赤字のステーションが30.8%となっている。
- 機能強化型訪問看護管理療養費の算定については、「現在算定している」が12.9%、「要件が整えば算定したい」が44.7%、「算定する予定はない」が41.2%となっている。
- 経営上の課題については、回答が多かったのは「看護職員の質の向上」(69.6%)、「後継者育成」(56.7%)、「看護職員の不足」(52.6%)、「利用者の確保」(48.0%)である。

### 5. 訪問看護全般について

- 訪問看護に関する県の取り組みに関し、実施してほしい事業について、回答が多かったのは「訪問看護師の育成を支援する事業」(67.5%)、「請求事務をバックアップする事業」(53.8%)、「新人訪問看護師の育成体制を強化する事業」(38.8%)となっている。

### III. 調査結果

#### 1. 基礎データ

設置主体 (n=171)

回答内容	事業所数	構成比(%)
①営利法人(株式会社・有限会社・合同会社)	83	48.5
②医療法人	50	29.2
③医師会・看護協会	17	9.9
④社団・財団(①を除く)	5	3.0
⑤生活協同組合	5	3.0
⑥社会福祉法人(社協含む)	4	2.3
⑦NPO法人	1	0.6
⑧その他(自治体など)	6	3.5
合計	171	100.0

精神訪問看護特化型の該当 (n=171)

回答内容	事業所数	構成比(%)
該当する	17	9.9
該当しない	154	90.1
合計	171	100.0

土日祝日営業の有無 (n=171)

あり 117 事業所 (68.4%)      なし 54 事業所 (31.6%)

回答内容	事業所数	構成比(%)
① 土曜のみ営業	41	35.0
② 日曜のみ営業	5	4.3
③ 土日祝日すべて営業	26	22.2
④ その他(祝日のみ休みなど)	45	38.5
合計	117	100.0

土日祝日に営業している事業所は全体の約 2 / 3 を占める。

## 2. 職員の配置等について

問1 貴事業所における看護師等の配置状況について、常勤職員、非常勤職員別に教えてください。

### ① 2次医療圏別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数(常勤換算)

看護職員数(常勤換算) 2次医療圏別 階層別 事業所数 (常勤換算平均値: 5.3人 (n=171)) (単位:事業所)	左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)																
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	6	2
3人未満	16	0	0	3	3	2	2	2	2	0	1	1	3	10	1	2	0
3人以上5人未満	66	8	7	13	8	2	4	9	4	7	4	0	30	28	5	2	1
5人以上7人未満	38	2	4	2	7	3	4	7	7	2	0	0	22	8	7	1	0
7人以上	44	6	2	7	10	4	8	3	2	2	0	0	35	6	2	1	0
無回答	7	0	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	4	0	1

1事業所あたりの看護職員数平均値は、5.3人であった。(n=171)

### ①-2 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)

看護職員数の階層別事業所数の割合(常勤換算)(n=171)

	構成比(%)
全体	100.0%
3人未満	9.4%
3人以上5人未満	38.6%
5人以上7人未満	22.2%
7人以上	25.7%
無回答	4.1%

### ①-3 経営状況別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所の割合(常勤換算) (赤字または黒字と回答した事業所のみの集計)

看護職員数の階層別事業所数の経営状況毎の割合(常勤換算)(n=144)

	黒字	赤字
全体	100.0%	100.0%
3人未満	3.3%	19.2%
3人以上5人未満	32.6%	53.8%
5人以上7人未満	23.9%	15.4%
7人以上	38.0%	11.5%
無回答	2.2%	0.0%

経営状況別では、黒字の事業所の方が看護職員数が多い傾向が見られた。

**② 2次医療圏別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数(実人数(常勤+非常勤))**

	看護職員数(実人数) 2次医療圏別 階層別 事業所数 (n=171)												左の表の経営別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	6	2
3人未満	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1
3人以上5人未満	37	2	3	7	6	1	2	9	3	1	3	0	11	19	4	2	1
5人以上7人未満	52	5	6	8	6	2	5	5	7	6	2	0	25	19	7	1	0
7人以上	79	9	5	10	18	7	12	8	5	4	1	0	56	13	8	2	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**②-1 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所数の割合(実人数(常勤+非常勤))**

看護職員数の階層別事業所数の割合(実人数)(n=171)

	構成比(%)
全体	100.0%
3人未満	1.8%
3人以上5人未満	21.6%
5人以上7人未満	30.4%
7人以上	46.2%
無回答	0.0%

**②-2 経営状況別 1事業所あたりの看護職員数階層別事業所の割合(実人数(常勤+非常勤))  
(赤字または黒字と回答した事業所のみを集計)**

看護職員数の階層別事業所数の経営状況毎の割合(実人数)(n=144)

	黒字	赤字
全体	100.0%	100.0%
3人未満	0.0%	1.9%
3人以上5人未満	12.0%	36.5%
5人以上7人未満	27.2%	36.5%
7人以上	60.9%	25.0%
無回答	0.0%	0.0%

**③ 2次医療圏別 1事業所あたりのPT OT ST 職員数階層別事業所数(常勤換算)**

	PT OT ST職員数(常勤換算) 2次医療圏別 階層別 事業所数 (n=171)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	6	2
0人	74	4	6	10	11	7	11	9	6	7	3	0	33	23	11	6	1
3人未満	68	8	6	10	13	3	5	10	6	3	3	1	41	22	4	0	1
3人以上5人未満	14	1	1	1	4	1	2	2	1	1	0	0	8	5	1	0	0
5人以上7人未満	7	1	0	2	0	0	1	1	2	0	0	0	5	0	2	0	0
7人以上	8	2	1	2	2	0	0	0	0	1	0	0	5	2	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### ③-1 1事業所あたりのPT OT ST 職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)

PT OT ST職員数の階層別事業所数の割合 (常勤換算) (n = 171)

	構成比(%)
全体	100.0%
0人	43.3%
3人未満	39.8%
3人以上5人未満	8.2%
5人以上7人未満	4.1%
7人以上	4.7%
無回答	0.0%

### ④ 2次医療圏別 1事業所あたりの事務職員数階層別事業所数(常勤換算)

	事務職員数(常勤換算) 2次医療圏別 階層別 事業所数 (n=171)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	6	2
0人	23	0	5	5	3	1	3	3	1	1	1	0	7	10	4	2	0
3人未満	117	13	7	17	23	7	13	17	8	9	2	1	72	33	9	2	1
3人以上5人未満	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5人以上7人未満	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
7人以上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
無回答	28	3	2	2	2	3	3	2	5	2	3	0	11	9	5	2	1

### ④-1 1事業所あたりの事務職員数階層別事業所数の割合(常勤換算)

事務職員数の階層別事業所数の割合 (常勤換算) (n = 143)

	構成比(%)
全体	100.0%
0人	16.1%
3人未満	81.8%
3人以上5人未満	0.7%
5人以上7人未満	0.7%
7人以上	0.7%

※無回答を除いて算出

看護職員3人未満(実人数)が1.8%と少なくなっている。

一方で、「5人以上7人未満」及び「7人以上」の事業所が76.6%となっている。

機能強化型訪問看護ステーションの要件を満たしているステーションが増えていると思われる。

問2 現状において、貴事業所では看護職員(保健師、助産師、看護師、准看護師)が確保(充足)できていますか。

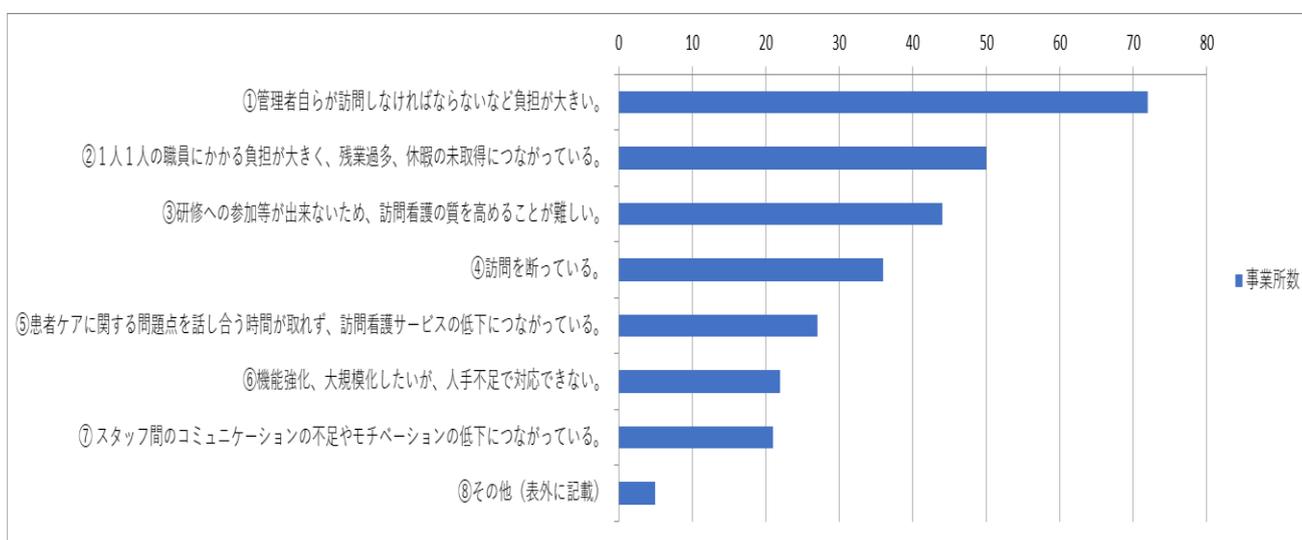
看護職員が確保(充足)できていますか? 2次医療圏別 事業所数 (n=169) (単位:事業所)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
合計	169	16	14	24	30	11	19	22	15	12	6
できている	84	6	6	12	17	6	7	10	10	7	3
できていな	85	10	8	12	13	5	12	12	5	5	3

看護職員が確保(充足)できていますか? 2次医療圏別 事業所割合 (n=169) (単位:%)											
	全体	南部	南西部	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
できている	49.7%	37.5%	42.9%	50.0%	56.7%	54.5%	36.8%	45.5%	66.7%	58.3%	50.0%
できていな	50.3%	62.5%	57.1%	50.0%	43.3%	45.5%	63.2%	54.5%	33.3%	41.7%	50.0%

職員の採用ができているとの回答が多かった医療圏(50%超)は、さいたま、県央、利根、北部であった。一方、できていないとの回答が多かった医療圏(50%超)は、南部、南西部、川越比企、西部であった。

問3 確保できていない場合、どのような問題があるかお答えください。(複数回答可)

問3 確保できていない場合、どのような問題があるかお答えください。	(単位:事業所)
①管理者自らが訪問しなければならないなど負担が大きい。	72
②1人1人の職員にかかる負担が大きく、残業過多、休暇の未取得につながっている。	50
③研修への参加等が出来ないため、訪問看護の質を高めることが難しい。	44
④訪問を断っている。	36
⑤患者ケアに関する問題点を話し合う時間が取れず、訪問看護サービスの低下につながっている。	27
⑥機能強化、大規模化したいが、人手不足で対応できない。	22
⑦スタッフ間のコミュニケーションの不足やモチベーションの低下につながっている。	21
⑧その他(表外に記載)	5



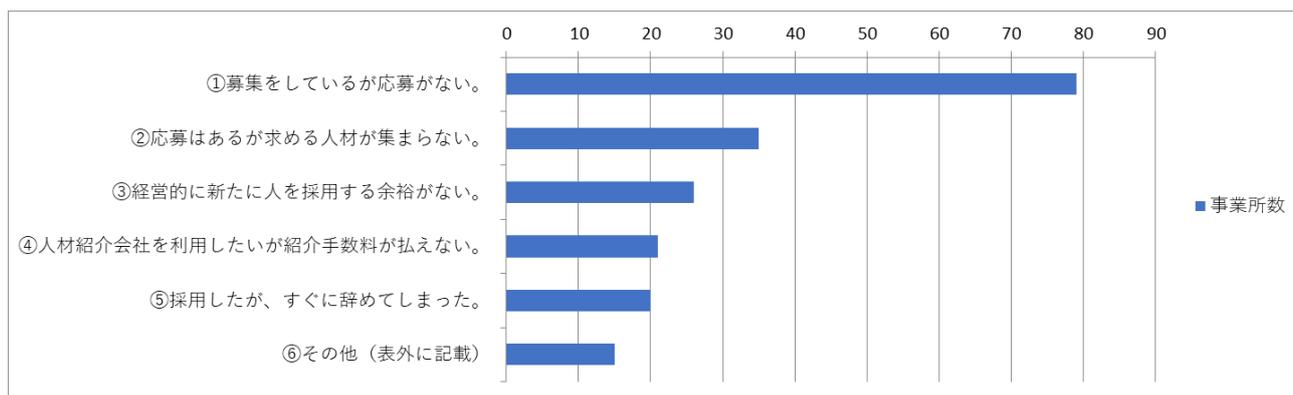
※⑧その他

- ・利用者様のご希望の時間にスタッフが充足されていない。
- ・緊急携帯の担当日数が多く、十分な休息が取れない。
- ・退職予定者(定年)の後任の育成ができない。
- ・スタッフの病気や子供の病気等の急な休みに余裕がなく、積極的な受け入れが出来ない。
- ・オンコール・緊急出動等対応スタッフ少なく負担が大きい。

職員が確保できていない場合の問題で管理者にかかる負担が大きい。次に職員にかかる負担、研修への参加等ができないため看護の質を高めることができないとなっている。

#### 問4 現在の求人等の状況について教えてください。(複数回答可)

問4 現在の求人等の状況について教えてください。(n=153) (単位：事業所)	
①募集をしているが応募がない。	79
②応募はあるが求める人材が集まらない。	35
③経営的に新たに人を採用する余裕がない。	26
④人材紹介会社を利用したいが紹介手数料が払えない。	21
⑤採用したが、すぐに辞めてしまった。	20
⑥その他 (表外に記載)	15



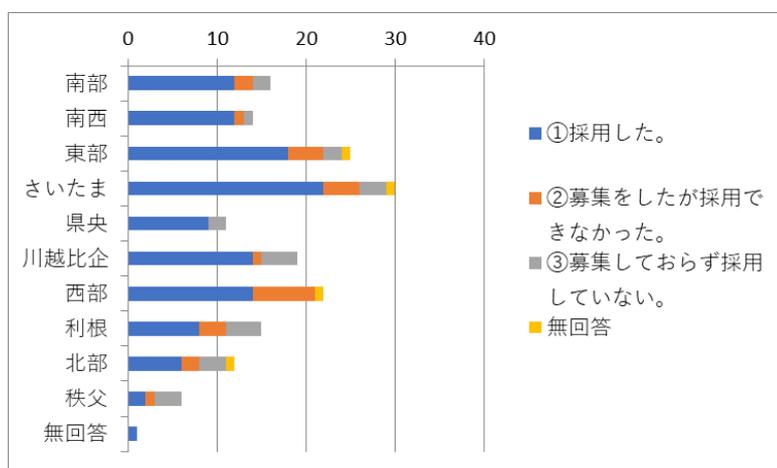
#### ※⑥その他

- ・人材紹介会社からの紹介で面接を行っているが、非常勤時給等で別事業所を選択され採用に至っていない。
- ・現場は不足を感じているが、法人側は訪問看護に力を入れる予定はない。
- ・勤務したい時間と勤務してほしい時間が合わない
- ・施設の広さ、設備などの、ハード面において今以上に増やすことが難しい。
- ・スタッフが高齢化しているので若い看護師を募集しているが応募がない。
- ・非常勤(フルタイム)のパートさんの募集がない
- ・管理者候補がない。
- ・パートの方に出勤を増やしてもらっている。
- ・産休で休んでいるスタッフがいるため、待っている。
- ・常に応募があり、採用にいたっている。
- ・求人広告を見て適宜募集があり、採用している。
- ・募集を検討中。
- ・当ステーションをホームページ等で知り、本人からの連絡があり、就職の意欲がある方は面接し採用を検討する。
- ・本社管理のため不明。
- ・特定施設内での訪問看護のため本社に任せている。

**問5 平成31年4月1日～令和2年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。**

問5 平成31年4月1日～令和2年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。(2次医療圏別集計) (n=171) (単位:事業所)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	171	15	14	25	31	11	19	22	15	12	6	1
①採用した。	118	11	12	18	23	9	14	14	8	6	2	1
②募集をしたが採用できなかった。	25	2	1	4	4	0	1	7	3	2	1	0
③募集しておらず採用していない。	24	2	1	2	3	2	4	0	4	3	3	0
無回答	4	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0

問5-② 平成31年4月1日～令和2年3月31日の間において、看護職員を採用しましたか。(2次医療圏別回答割合) (n=171) (単位:%)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
①採用した。	69.0%	68.8%	85.7%	72.0%	76.7%	81.8%	73.7%	63.6%	53.3%	50.0%	33.3%	100.0%
②募集をしたが採用できなかった。	14.6%	12.5%	7.1%	16.0%	13.3%	0.0%	5.3%	31.8%	20.0%	16.7%	16.7%	0.0%
③募集しておらず採用していない。	14.0%	12.5%	7.1%	8.0%	10.0%	18.2%	21.1%	0.0%	26.7%	25.0%	50.0%	0.0%
無回答	2.3%	0.0%	0.0%	4.0%	3.3%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%



県全体で見ると、69%の事業所で看護職員を採用していた。

**問5-③看護職員を採用した人数を教えてください。(看護職員を採用した事業所のみ回答)**

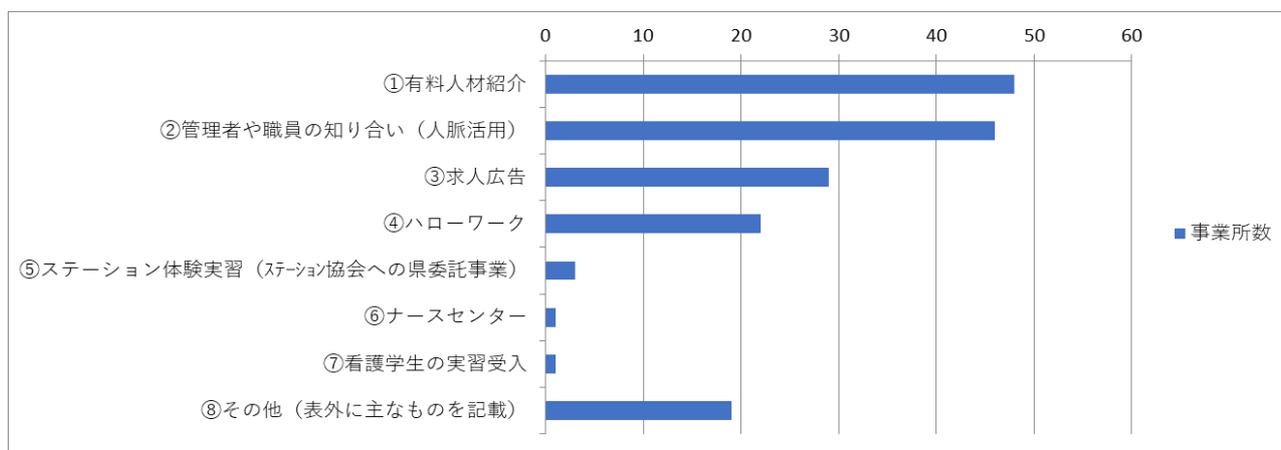
問5-③ 採用した人数を教えてください。(2次医療圏別階層別集計) (採用した事業所のみ回答) (n=118) (単位:事業所)												
採用した人数	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	118	11	12	18	23	9	14	14	8	6	2	1
①1人	56	7	5	8	6	4	8	9	5	3	1	0
②2人～4人	48	3	6	7	13	5	3	4	3	2	1	1
③5人以上	14	1	1	3	4	0	3	1	0	1	0	0

問5-③ 採用した人数を教えてください。(2次医療圏別階層別割合) (採用した事業所のみ回答) (n=118) (単位:%)												
採用した人数	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
①1人	47.5%	63.6%	41.7%	44.4%	26.1%	44.4%	57.1%	64.3%	62.5%	50.0%	50.0%	0.0%
②2人～4人	40.7%	27.3%	50.0%	38.9%	56.5%	55.6%	21.4%	28.6%	37.5%	33.3%	50.0%	100.0%
③5人以上	11.9%	9.1%	8.3%	16.7%	17.4%	0.0%	21.4%	7.1%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%

採用した人数については、地域別では大きな傾向は見られなかった。(回答数が少ないことにも起因)

**問6 採用につながった方法・媒体について教えてください。(問5で採用したと回答した事業所のみ回答)  
(複数回答可)**

問6 採用につながった方法・媒体について (n=118) (単位：事業所)	
①有料人材紹介	48
②管理者や職員の知り合い (人脈活用)	46
③求人広告	29
④ハローワーク	22
⑤ステーション体験実習 (ステーション協会委託事業)	3
⑥ナースセンター	1
⑦看護学生の実習受入	1
⑧その他 (表外に主なものを記載)	19



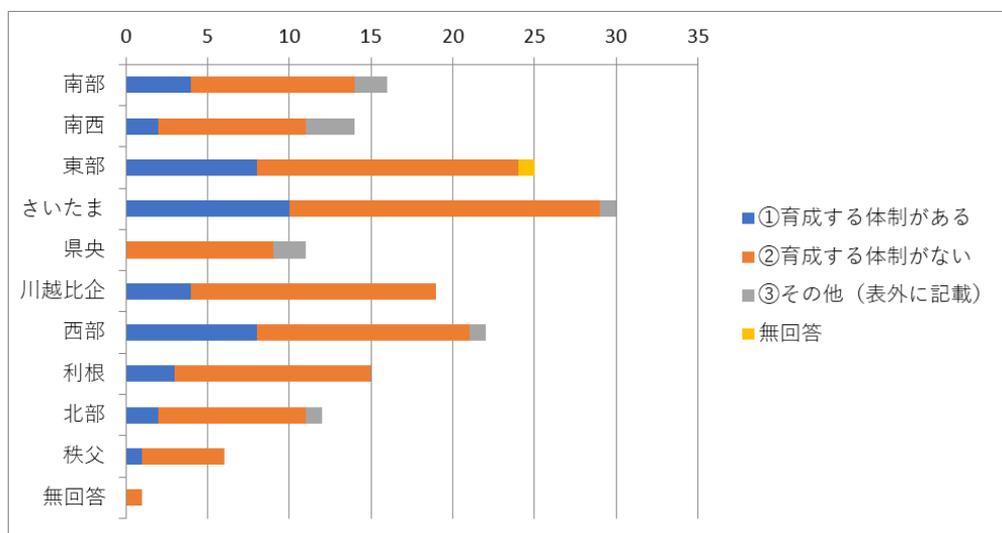
**※⑧その他**

- ・ステーション協会の募集をみて
- ・ホームページ
- ・自施設のホームページ
- ・市および看護協会のホームページ
- ・直接求人問い合わせあり
- ・問い合わせの電話
- ・知人からの紹介
- ・自主応募
- ・以前応募してきた方が妊娠の為辞退し、子育てがひと段落してから再度応募してきた。
- ・病院から移動
- ・法人内異動

## 問7 新卒訪問看護師の育成体制について教えてください。

問7 新卒訪問看護師の育成体制について教えてください。(2次医療圏別集計) (n=171) (単位:事業所)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1
①育成する体制がある	42	4	2	8	10	0	4	8	3	2	1	0
②育成する体制がない	118	10	9	16	19	9	15	13	12	9	5	1
③その他(表外に記載)	10	2	3	0	1	2	0	1	0	1	0	0
無回答	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

問7-② 新卒訪問看護師の育成体制について教えてください。(2次医療圏別割合) (n=171) (単位:%)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
①育成する体制がある	24.6%	25.0%	14.3%	32.0%	33.3%	0.0%	21.1%	36.4%	20.0%	16.7%	16.7%	0.0%
②育成する体制がない	69.0%	62.5%	64.3%	64.0%	63.3%	81.8%	78.9%	59.1%	80.0%	75.0%	83.3%	100.0%
③その他(表外に記載)	5.8%	12.5%	21.4%	0.0%	3.3%	18.2%	0.0%	4.5%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
無回答	0.6%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



### ※③その他

- ・訪問看護師育成プログラムを活用予定。
- ・応募あれば訪問看護ステーション協会の育成プログラムを活用したい。
- ・今後育成したいと思っている。
- ・病棟のラダーを活用。
- ・2~4週看護師に同行してもらっています。
- ・R4年4月に受け入れ予定者がいる。
- ・育成する体制はあるが、多忙のため育成していない。
- ・新卒訪問看護師の入職歴がない。
- ・体制は整えられるが単独訪問が出来るようになるまでの人件費の負担が大きい。
- ・特に考えていなかった。

西部、さいたま、東部は30%を超えて新卒訪問看護師の教育体制が整っている。逆に県央は、ほとんど体制が整っていないとの回答であった。

**問8 退職者(看護職員)について教えてください。**

**令和元年度中(H31.4.1～R2.3.31)の退職者数(常勤・非常勤)**

問8 退職者(看護職員)について教えてください。(単位:人・事業所)			
	退職者総数	1事業者当たり 平均退職者数	退職者がいた 事業者数
看護師・保健師・助産師	186	1.9	95
准看護師	39	4.3	8

今回 回答した事業所の103か所で退職者が出ており、60%のステーションで看護職員が退職しているといえる。

### 3. 訪問看護サービスの提供状況について

問9 令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数を教えてください。

(注)介護保険及び医療保険双方から訪問看護を提供している場合は、両方でカウントしてください。

問9 令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別総利用者数) (単位:人)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
介護保険(要介護1～5) A	8,785	964	1,158	1,172	2,015	351	907	1,039	605	345	213	16
介護保険(要支援1, 2) B	1,229	84	109	174	321	55	111	183	64	70	58	0
医療保険 C	5,172	461	314	790	1,010	316	612	657	570	206	234	2
総利用者数 D = A + B + C	15,186	1,509	1,581	2,136	3,346	722	1,630	1,879	1,239	621	505	18

※ 医療保険のみの事業所: 10

問9 令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別1事業所当たり平均総利用者数) (単位:人)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
介護保険(要介護1～5) A	53.2	60.3	82.7	46.9	69.5	39.0	47.7	49.5	40.3	34.5	35.5	16.0
介護保険(要支援1, 2) B	7.4	5.3	7.8	7.0	11.1	6.1	5.8	8.7	4.3	7.0	9.7	0.0
医療保険 C	31.3	28.8	22.4	31.6	34.8	35.1	32.2	31.3	38.0	20.6	39.0	2.0
総利用者数 D = A + B + C	92.0	94.3	112.9	85.4	115.4	80.2	85.8	89.5	82.6	62.1	84.2	18.0

問9 令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別総利用者階層別事業所数) (n=165) (単位:事業所)													左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	165	16	14	25	29	9	19	21	15	10	6	1	92	52	18	2	1
50人未満	49	3	3	10	8	2	5	5	4	6	2	1	12	29	7	1	0
50人～100人未満	66	5	8	8	12	6	9	12	4	0	2	0	45	17	3	0	1
100人以上	49	8	3	7	9	1	5	4	6	4	2	0	35	6	8	0	0
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0

問9 令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別総利用者階層別事業所割合) (単位:%)													左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
50人未満	29.7%	18.8%	21.4%	40.0%	27.6%	22.2%	26.3%	23.8%	26.7%	60.0%	33.3%	100.0%	13.0%	55.8%	38.9%	50.0%	0.0%
50人～100人未満	40.0%	31.3%	57.1%	32.0%	41.4%	66.7%	47.4%	57.1%	26.7%	0.0%	33.3%	0.0%	48.9%	32.7%	16.7%	0.0%	100.0%
100人以上	29.7%	50.0%	21.4%	28.0%	31.0%	11.1%	26.3%	19.0%	40.0%	40.0%	33.3%	0.0%	38.0%	11.5%	44.4%	0.0%	0.0%
無回答	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

1事業所あたりの利用者数は、介護保険利用者60.6人、医療保険利用者31.3人であった。

2次医療圏別に見ると、さいたま115.4人、南西部112.9人、南部94.3人の順に多い。

問9-② 令和2年3月中(3/1~3/31)の利用者数を教えてください。(経営状況別集計)

(注)介護保険及び医療保険双方から訪問看護を提供している場合は、両方でカウントしてください。

(注)「黒字」または「赤字」と回答した事業所のみの集計

[黒字の事業所]

問9-② 令和2年3月中(3/1~3/31)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別 1事業所当たり平均総利用者数) 黒字事業所 (単位:人)													
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	
介護保険(要介護1~5) A	64.4	67.4	84.2	55.7	100.6	52.8	57.5	55.5	30.4	42.8	54.0	0.0	
介護保険(要支援1, 2) B	8.7	5.0	6.3	7.3	14.1	7.8	6.9	13.1	2.4	12.5	14.7	0.0	
医療保険 C	41.4	41.2	23.5	41.6	50.9	41.2	45.3	45.5	58.4	18.8	17.7	0.0	
総利用者数 D=A+B+C	114.5	113.6	113.9	104.7	165.6	101.8	109.7	114.1	91.1	74.0	86.3	0.0	

[赤字の事業所]

問9-② 令和2年3月中(3/1~3/31)の利用者数を教えてください。(2次医療圏別保険別 1事業所当たり平均総利用者数) 赤字事業所 (単位:人)													
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	
介護保険(要介護1~5) A	35.1	48.3	38.0	29.9	28.2	21.8	34.3	42.2	59.0	22.3	23.0	16.0	
介護保険(要支援1, 2) B	4.8	5.7	3.5	6.4	2.5	4.0	4.4	4.0	8.6	2.3	7.0	0.0	
医療保険 C	14.8	8.2	9.0	11.8	28.5	22.5	14.3	11.8	14.0	19.3	6.0	2.0	
総利用者数 D=A+B+C	54.7	62.2	50.5	48.0	59.2	48.3	52.9	58.0	81.6	43.8	36.0	18.0	

問10 令和2年3月中(3/1～3/31)の訪問回数を教えてください。

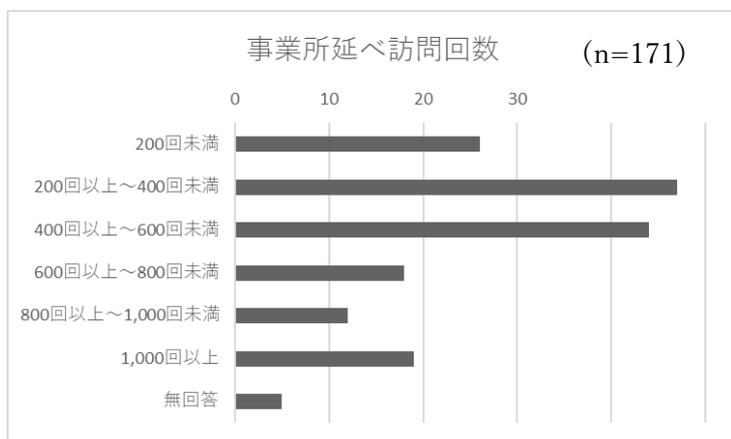
(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

平均値(訪問回数) (n=171)

	平均値(回数)
事業所延べ訪問回数	562.8
看護職員延べ訪問回数	400.3
PT OT ST 延べ訪問回数	162.6

〔事業所延べ訪問回数〕

問10 令和2年3月中(3/1～3/31)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 延べ訪問回数階層別事業者数)												(単位:事業者)	
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	
200回未満	26	1	2	5	2	2	4	4	1	4	0	1	
200回以上～400回未満	47	5	5	5	11	2	3	7	3	2	4	0	
400回以上～600回未満	44	2	4	6	5	4	7	7	6	2	1	0	
600回以上～800回未満	18	3	0	3	5	2	2	1	1	0	1	0	
800回以上～1,000回未満	12	3	1	3	1	0	1	1	1	1	0	0	
1,000回以上	19	2	1	3	6	0	2	2	2	1	0	0	
無回答	5	0	1	0	0	1	0	0	1	2	0	0	



問10 令和2年3月中(3/1～3/31)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 延べ訪問回数階層別事業者割合)												(単位:%)	
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
200回未満	15.2%	6.3%	14.3%	20.0%	6.7%	18.2%	21.1%	18.2%	6.7%	33.3%	0.0%	100.0%	
200回以上～400回未満	27.5%	31.3%	35.7%	20.0%	36.7%	18.2%	15.8%	31.8%	20.0%	16.7%	66.7%	0.0%	
400回以上～600回未満	25.7%	12.5%	28.6%	24.0%	16.7%	36.4%	36.8%	31.8%	40.0%	16.7%	16.7%	0.0%	
600回以上～800回未満	10.5%	18.8%	0.0%	12.0%	16.7%	18.2%	10.5%	4.5%	6.7%	0.0%	16.7%	0.0%	
800回以上～1,000回未満	7.0%	18.8%	7.1%	12.0%	3.3%	0.0%	5.3%	4.5%	6.7%	8.3%	0.0%	0.0%	
1,000回以上	11.1%	12.5%	7.1%	12.0%	20.0%	0.0%	10.5%	9.1%	13.3%	8.3%	0.0%	0.0%	
無回答	2.9%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	6.7%	16.7%	0.0%	0.0%	

**〔職種別延べ訪問回数〕**

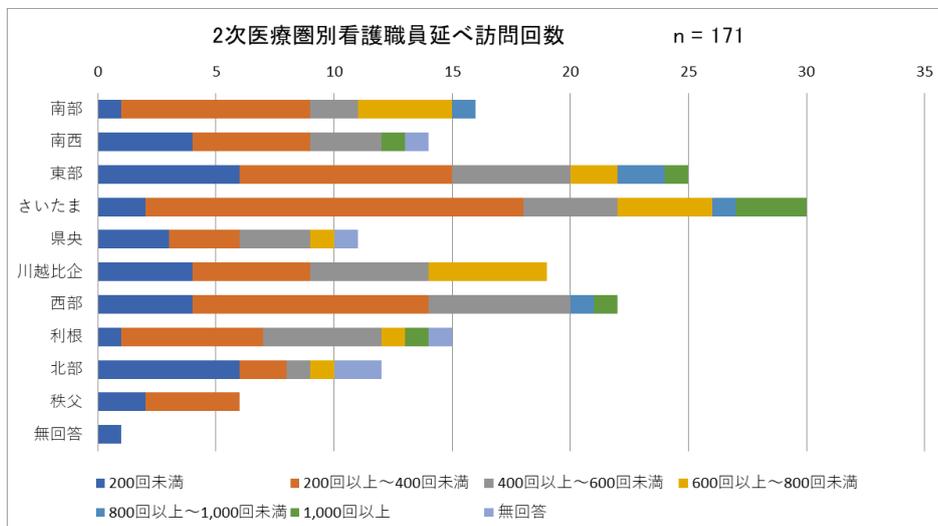
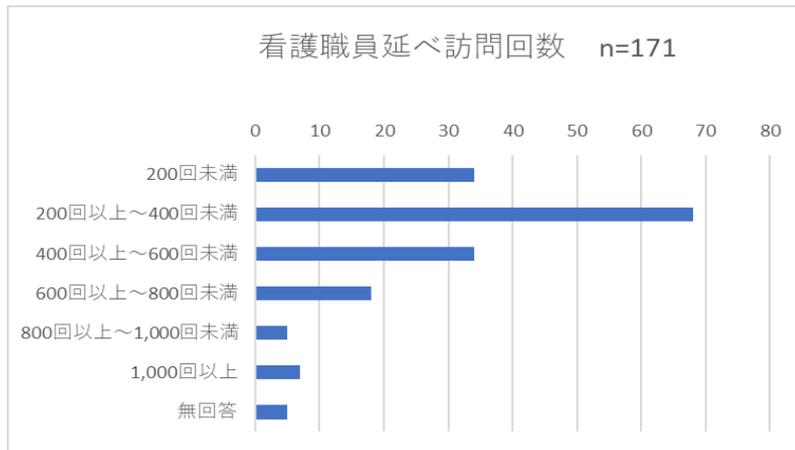
問10 令和2年3月中（3/1～3/31）の訪問回数を教えてください。（2次医療圏別 延べ訪問回数階層別事業者数）（単位：事業者）

	看護職員延べ訪問回数	PT OT ST延べ訪問回数	事業所延べ訪問回数
全体	171	159	171
200回未満	34	118	26
200回以上～400回未満	68	19	47
400回以上～600回未満	34	11	44
600回以上～800回未満	18	2	18
800回以上～1,000回未満	5	0	12
1,000回以上	7	4	19
無回答	5	5	5

**〔看護職員延べ訪問回数〕**

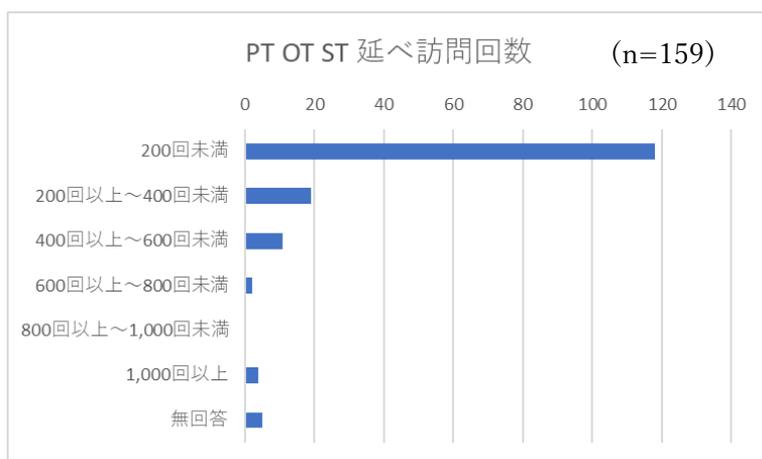
問10 令和2年3月中（3/1～3/31）の訪問回数を教えてください。（2次医療圏別 看護職員 延べ訪問回数階層別事業者数）（単位：事業者）

	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1
200回未満	34	1	4	6	2	3	4	4	1	6	2	1
200回以上～400回未満	68	8	5	9	16	3	5	10	6	2	4	0
400回以上～600回未満	34	2	3	5	4	3	5	6	5	1	0	0
600回以上～800回未満	18	4	0	2	4	1	5	0	1	1	0	0
800回以上～1,000回未満	5	1	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0
1,000回以上	7	0	1	1	3	0	0	1	1	0	0	0
無回答	5	0	1	0	0	1	0	0	1	2	0	0



## 【PT OT ST 延べ訪問回数】

問10 令和2年3月中(3/1~3/31)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 PT OT ST 延べ訪問回数階層別事業者数) (n=159) (単位:事業所)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	159	14	14	22	30	11	17	19	14	12	5	1
200回未満	118	9	11	17	22	8	14	15	9	8	4	1
200回以上~400回未満	19	3	1	2	5	2	1	3	1	1	0	0
400回以上~600回未満	11	1	0	2	2	0	1	1	3	0	1	0
600回以上~800回未満	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
800回以上~1,000回未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,000回以上	4	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0
無回答	5	0	1	0	0	1	0	0	1	2	0	0



問10 令和2年3月中(3/1~3/31)の訪問回数を教えてください。(2次医療圏別 PT OT ST 延べ訪問回数階層別事業者割合) (n=159) (単位:%)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
200回未満	74.2%	64.3%	78.6%	77.3%	73.3%	72.7%	82.4%	78.9%	64.3%	66.7%	80.0%	100.0%
200回以上~400回未満	11.9%	21.4%	7.1%	9.1%	16.7%	18.2%	5.9%	15.8%	7.1%	8.3%	0.0%	0.0%
400回以上~600回未満	6.9%	7.1%	0.0%	9.1%	6.7%	0.0%	5.9%	5.3%	21.4%	0.0%	20.0%	0.0%
600回以上~800回未満	1.3%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
800回以上~1,000回未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1,000回以上	2.5%	0.0%	0.0%	4.5%	3.3%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
無回答	3.1%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	7.1%	16.7%	0.0%	0.0%

問10-② 令和2年3月中(3/1～3/31)の訪問回数を教えてください。(経営状況別)

(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

〔経営状況別 事業所延べ訪問回数〕

問10-②令和2年3月中(3/1～3/31)の訪問回数(経営状況別延べ訪問回数階層別事業者数)(n=171)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	92	52	19	6	2
200回未満	5	15	4	2	0
200回以上～400回未満	20	23	3	0	1
400回以上～600回未満	29	9	6	0	0
600回以上～800回未満	17	0	1	0	0
800回以上～1,000回未満	7	3	2	0	0
1,000回以上	14	2	2	1	0
無回答	0	0	1	3	1

〔経営状況別 看護職員延べ訪問回数〕

問10-②令和2年3月中(3/1～3/31)の訪問回数(経営状況別延べ訪問回数階層別事業者数)(n=171)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	92	52	19	6	2
200回未満	5	15	4	2	0
200回以上～400回未満	20	23	3	0	1
400回以上～600回未満	29	9	6	0	0
600回以上～800回未満	17	0	1	0	0
800回以上～1,000回未満	7	3	2	0	0
1,000回以上	14	2	2	1	0
無回答	0	0	1	3	1

〔経営状況別 PT OT ST 延べ訪問回数〕

問10-②令和2年3月中(3/1～3/31)の訪問回数(経営状況別PT OT ST延べ訪問回数階層別事業者数)(n=159)(単位:事業所)					
	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	85	47	19	6	2
200回未満	61	39	14	3	1
200回以上～400回未満	12	5	2	0	0
400回以上～600回未満	8	1	2	0	0
600回以上～800回未満	1	1	0	0	0
800回以上～1,000回未満	0	0	0	0	0
1,000回以上	3	1	0	0	0
無回答	0	0	1	3	1

問10-③ 令和2年3月中(3/1~3/31)の訪問回数を教えてください。(保険別・看護職員 PTOTST 別)

(注)1日に複数回訪問している場合は、訪問している回数分計上してください。

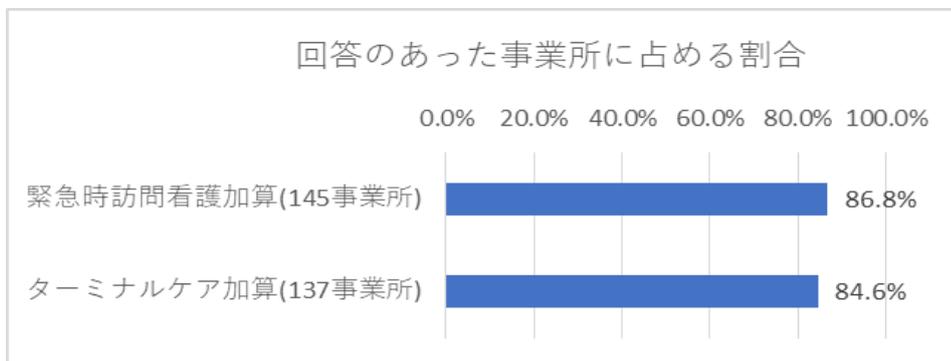
[保険別・看護職員 PTOTST 別 延べ訪問回数]

問10-③ 令和2年3月中(3/1~3/31)の訪問回数を教えてください。(保険別 看護職員 PTOTST別 延べ訪問回数階層別事業者数) (単位:事業者)									
	看護職員(要介護1~5)	看護職員(要支援1,2)	看護職員(医療保険)	看護職員延べ訪問回数	PTOTST(要介護1~5)	PTOTST(要支援1,2)	PTOTST(医療保険)	PTOTST延べ訪問回数	事業所延べ訪問回数
全体	171	171	171	171	157	157	157	159	171
200回未満	92	166	119	34	132	151	142	118	26
200回以上~400回未満	64	0	29	68	14	0	7	19	47
400回以上~600回未満	7	0	13	34	3	1	1	11	44
600回以上~800回未満	1	0	1	18	1	0	0	2	18
800回以上~1,000回未満	1	0	0	5	0	0	0	0	12
1,000回以上	1	0	4	7	2	0	2	4	19
無回答	5	5	5	5	5	5	5	5	5

問10-③ 令和2年3月中(3/1~3/31)の訪問回数を教えてください。(保険別 看護職員 PTOTST別 延べ訪問回数階層別事業者割合) (単位:%)									
	看護職員(要介護1~5)	看護職員(要支援1,2)	看護職員(医療保険)	看護職員延べ訪問回数	PTOTST(要介護1~5)	PTOTST(要支援1,2)	PTOTST(医療保険)	PTOTST延べ訪問回数	事業所延べ訪問回数
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
200回未満	53.8%	97.1%	69.6%	19.9%	84.1%	96.2%	90.4%	74.2%	15.2%
200回以上~400回未満	37.4%	0.0%	17.0%	39.8%	8.9%	0.0%	4.5%	11.9%	27.5%
400回以上~600回未満	4.1%	0.0%	7.6%	19.9%	1.9%	0.6%	0.6%	6.9%	25.7%
600回以上~800回未満	0.6%	0.0%	0.6%	10.5%	0.6%	0.0%	0.0%	1.3%	10.5%
800回以上~1,000回未満	0.6%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%
1,000回以上	0.6%	0.0%	2.3%	4.1%	1.3%	0.0%	1.3%	2.5%	11.1%
無回答	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	3.2%	3.2%	3.2%	3.1%	2.9%

問 11 介護保険及び医療保険の加算の届出状況と令和2年3月中(3/1～3/31)の請求実績を教えてください。(無回答の事業所を除いた集計)

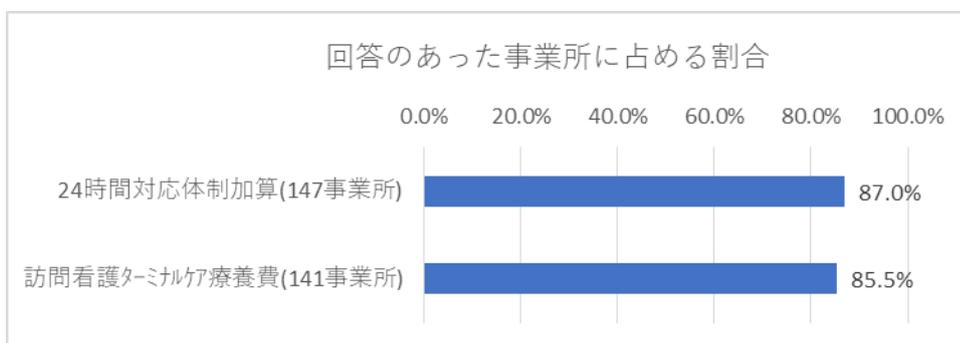
[介護保険の加算の届出(県全体)] 緊急時訪問看護加算 (n=167) ターミナルケア加算(n=162)



[介護保険の加算の請求実績(県全体)]

問 1 1 届出している事業所の請求実績 (単位:人)	事業所数
緊急時訪問看護加算同意人数(5,592人)	平均人数 39.1 (n=143)
ターミナルケア加算算定人数 (135人)	平均人数 1.5 (n=91)

[医療保険の加算の届出(県全体)] 24時間対応体制加算 (n=169) 訪問看護ターミナルケア療養費(n=165)



[医療保険の加算の請求実績(県全体)]

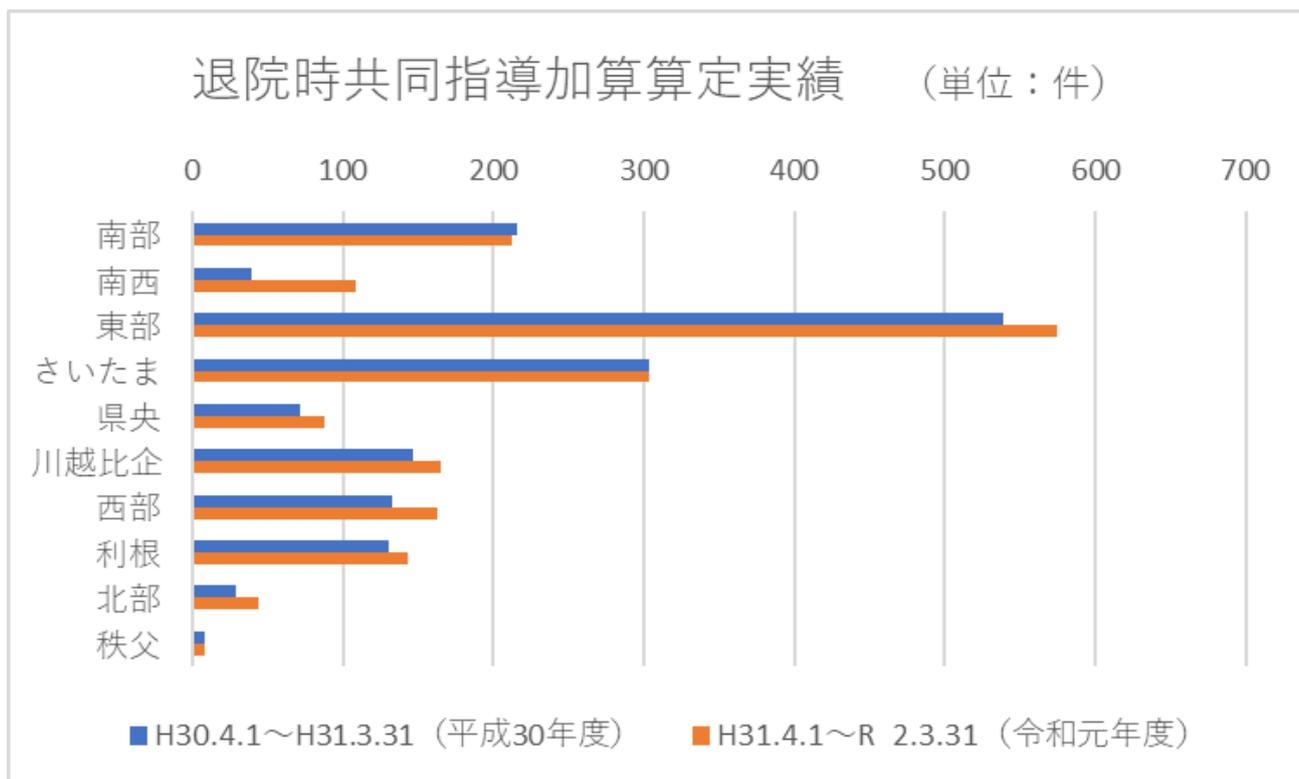
問 1 1 届出している事業所の請求実績 (単位:人)	事業所数
24時間対応体制加算同意人数 (3,045人)	平均人数 21.3 (n=143)
訪問看護ターミナルケア療養費算定人数(142人)	平均人数 1.1 (n=131)

緊急時訪問看護加算を届け出ている事業所は、ほぼターミナルケア加算も届け出ている。

問 12 医療機関との連携実績(退院時共同指導加算の実績)について教えてください。

※ 医療圏無回答を除く

問12 医療機関との連携実績 退院時共同指導加算 (2次医療圏別加算件数)	(平成30年度 n=230 令和元年度 n=170) (単位:件)									
	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
H30.4.1~H31.3.31 (平成30年度)	216	40	539	303	72	147	133	130	29	8
H31.4.1~R 2.3.31 (令和元年度)	213	109	575	304	88	165	163	143	44	8
年度比 (%)	98.6%	272.5%	106.7%	100.3%	122.2%	112.2%	122.6%	110.0%	151.7%	100.0%



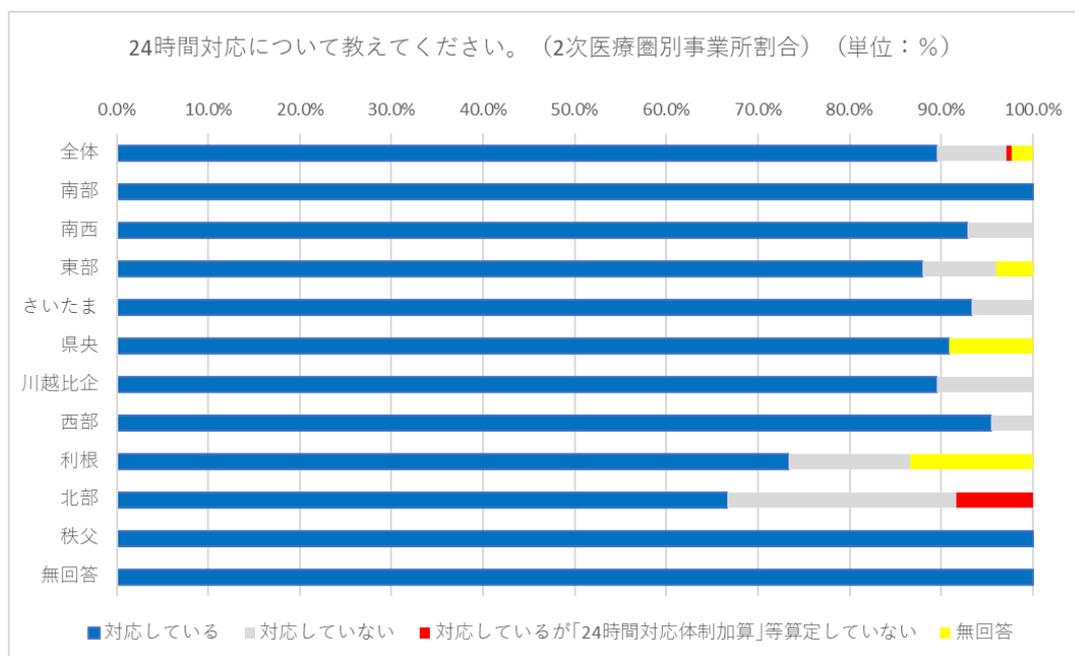
令和元年度は新型コロナウイルスの影響を受けた時期があったが、退院時共同指導加算算定実績は、ほとんどの2次医療圏において減少していないことから、医療機関との連携が進んでいることがうかがえる。

問 13 24時間対応状況について教えてください。

(「24時間対応体制加算」「緊急時訪問看護加算」を届出していますか。)

問13 24時間対応状況について教えてください。(2次医療圏別事業所数) (n=171) (単位:事業所)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1
対応している	153	16	13	22	28	10	17	21	11	8	6	1
対応していない	13	0	1	2	2	0	2	1	2	3	0	0
対応しているが「24時間対応体制加算」等算定していない	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
無回答	4	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0

問13 24時間対応状況について教えてください。(2次医療圏別事業所割合) (n=171) (単位:%)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
対応している	89.5%	100.0%	92.9%	88.0%	93.3%	90.9%	89.5%	95.5%	73.3%	66.7%	100.0%	100.0%
対応していない	7.6%	0.0%	7.1%	8.0%	6.7%	0.0%	10.5%	4.5%	13.3%	25.0%	0.0%	0.0%
対応しているが「24時間対応体制加算」等算定していない	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
無回答	2.3%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%



問 13-② 24時間対応していない理由を教えてください。(対応していない事業所のみ回答)

問 13-② 24時間対応していない理由を教えてください。(複数回答可)	
ア. スタッフが少なく、対応できない	6
イ. 人数的に対応可能だが、スタッフの負担を考慮し対応していない	3
ウ. 24時間対応を必要とする利用者がない	1
エ. その他	2
オ. 無回答	1

※ 「エ. その他」の内容

- ・ 会社都合により対応していない
- ・ 会社で統一している

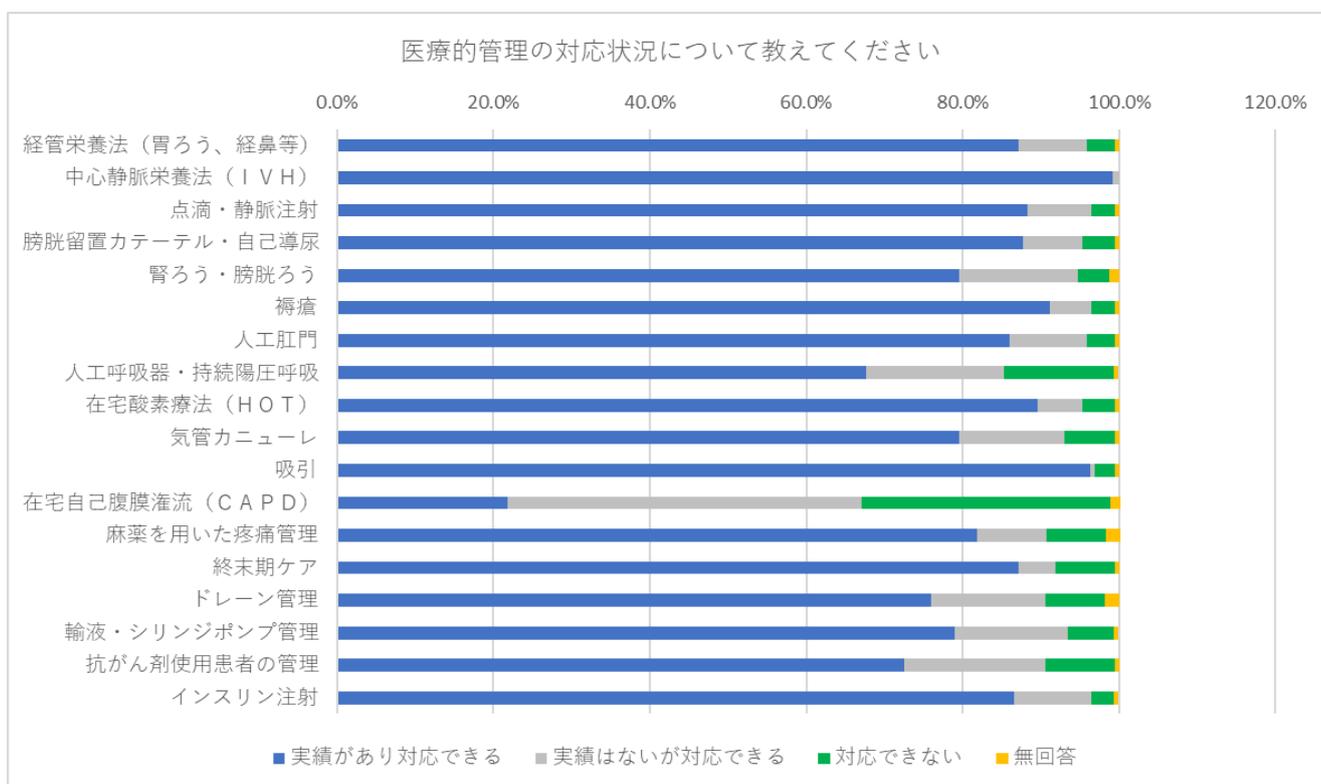
24時間対応していない割合が高い医療圏は、北部、利根の地域であった。対応していない理由は、スタッフが少ない、スタッフの負担を考慮してが多かった。

## 問 14. 医療的管理の対応状況について

県内全体的な医療的管理の対応状況は、在宅自己腹膜還流（CAPD）と人工呼吸器・持続陽圧呼吸の2項目以外は、実績あり対応できる、実績はないが対応可能と回答した事業所は90%以上であった。

対応できない項目では、在宅自己腹膜還流（CAPD）が31.8%と最も高値であり、続いて人工呼吸器・持続陽圧呼吸が14.1%の結果であった。

問 14 医療的管理の対応状況について教えてください。	(事業所割合) (n=171) (単位：%)			
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法（胃ろう、経鼻等）	87.1%	8.8%	3.5%	0.6%
中心静脈栄養法（IVH）	99.2%	0.8%	0.0%	0.0%
点滴・静脈注射	88.3%	8.2%	2.9%	0.6%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	87.7%	7.6%	4.1%	0.6%
腎ろう・膀胱ろう	79.5%	15.2%	4.1%	1.2%
褥瘡	91.2%	5.3%	2.9%	0.6%
人工肛門	86.0%	9.9%	3.5%	0.6%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	67.6%	17.6%	14.1%	0.6%
在宅酸素療法（HOT）	89.5%	5.8%	4.1%	0.6%
気管カニューレ	79.5%	13.5%	6.4%	0.6%
吸引	96.3%	0.6%	2.5%	0.6%
在宅自己腹膜灌流（CAPD）	21.8%	45.3%	31.8%	1.2%
麻薬を用いた疼痛管理	81.9%	8.8%	7.6%	1.8%
終末期ケア	87.1%	4.7%	7.6%	0.6%
ドレーン管理	76.0%	14.6%	7.6%	1.8%
輸液・シリンジポンプ管理	78.9%	14.6%	5.8%	0.6%
抗がん剤使用患者の管理	72.5%	18.1%	8.8%	0.6%
インスリン注射	86.5%	9.9%	2.9%	0.6%



令和元年度から県内3医療圏（南部・東部・北部）で教育ステーションとして研修等を実施している。この3医療圏の医療的管理の対応状況を比較すると、東部及び北部医療圏は医療的管理の対応実績が南部に比べ若干低値を示している。

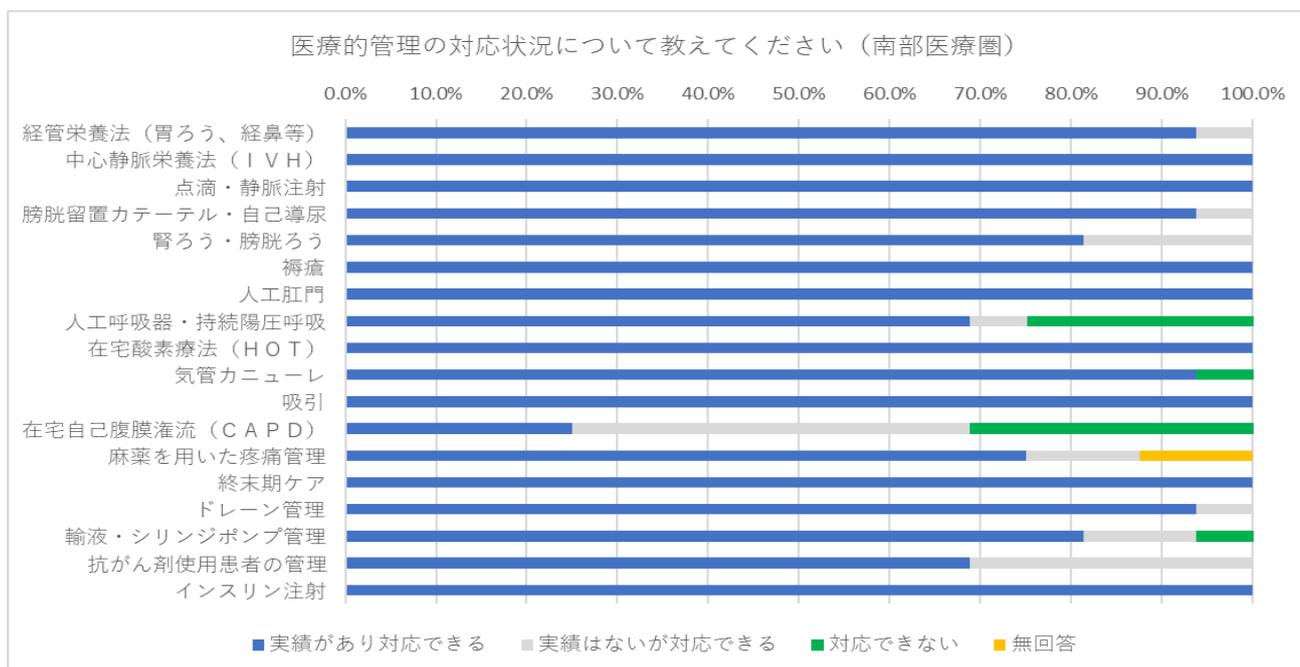
南部医療圏では、県内全域のデータと同じく、在宅腹膜還流（CAPD）の対応ができない31.3%、人工呼吸器・持続陽圧呼吸の対応ができない25.0%であった。また、麻薬を用いた疼痛管理の無回答が12.5%であった。

東部医療圏では、対応ができない項目は、抗がん剤使用患者の管理が16.0%と一番多く、終末期ケアと在宅腹膜還流（CAPD）が12.0%という結果となった。

北部医療圏の医療的管理の対応ができない項目は、在宅腹膜還流（CAPD）と人工呼吸器・持続陽圧呼吸の2項目ともに25.0%、麻薬を用いた疼痛管理と輸液・シリンジポンプ管理が16.7%であった。

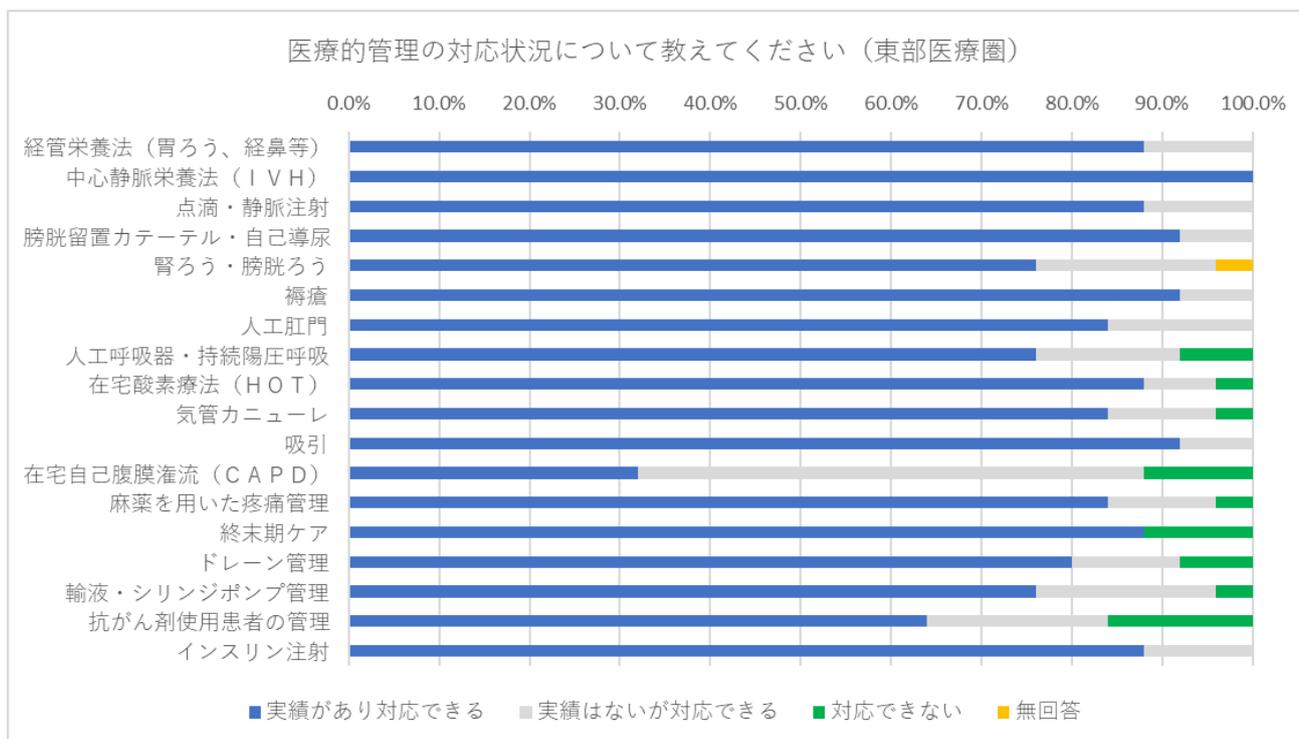
### [南部医療圏]

問14 医療的管理の対応状況について教えてください。	(南部医療圏における事業所割合) (n=16) (単位：%)			
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法（胃ろう、経鼻等）	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%
中心静脈栄養法（IVH）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
点滴・静脈注射	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	81.3%	18.8%	0.0%	0.0%
褥瘡	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人工肛門	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	68.8%	6.3%	25.0%	0.0%
在宅酸素療法（HOT）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管カニューレ	93.8%	0.0%	6.3%	0.0%
吸引	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在宅自己腹膜灌流（CAPD）	25.0%	43.8%	31.3%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	75.0%	12.5%	0.0%	12.5%
終末期ケア	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
ドレーン管理	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	81.3%	12.5%	6.3%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%
インスリン注射	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



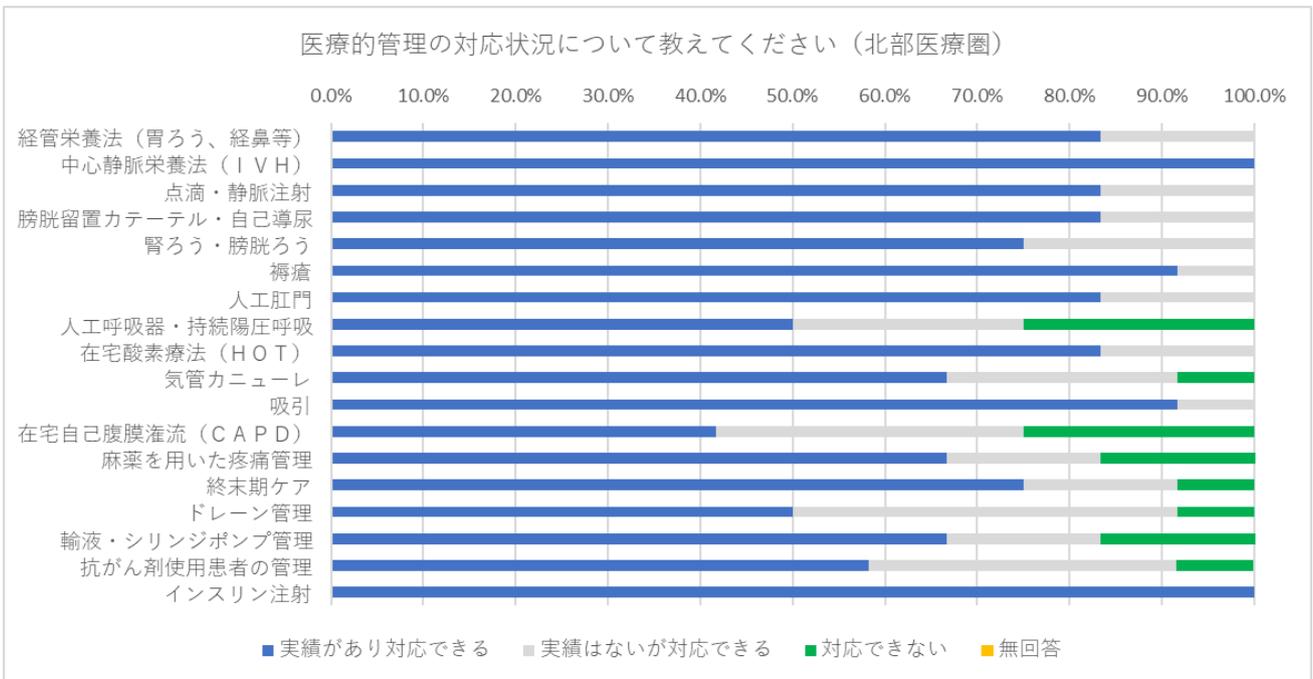
[東部医療圏]

問14 医療的管理の対応状況について教えてください。	(東部医療圏における事業所割合) (n=25)			(単位：%)
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法（胃ろう、経鼻等）	88.0%	12.0%	0.0%	0.0%
中心静脈栄養法（IVH）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
点滴・静脈注射	88.0%	12.0%	0.0%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	76.0%	20.0%	0.0%	4.0%
褥瘡	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%
人工肛門	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	76.0%	16.0%	8.0%	0.0%
在宅酸素療法（HOT）	88.0%	8.0%	4.0%	0.0%
気管カニューレ	84.0%	12.0%	4.0%	0.0%
吸引	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%
在宅自己腹膜灌流（CAPD）	32.0%	56.0%	12.0%	0.0%
麻薬を用いた疼痛管理	84.0%	12.0%	4.0%	0.0%
終末期ケア	88.0%	0.0%	12.0%	0.0%
ドレーン管理	80.0%	12.0%	8.0%	0.0%
輸液・シリンジポンプ管理	76.0%	20.0%	4.0%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	64.0%	20.0%	16.0%	0.0%
インスリン注射	88.0%	12.0%	0.0%	0.0%



[北部医療圏]

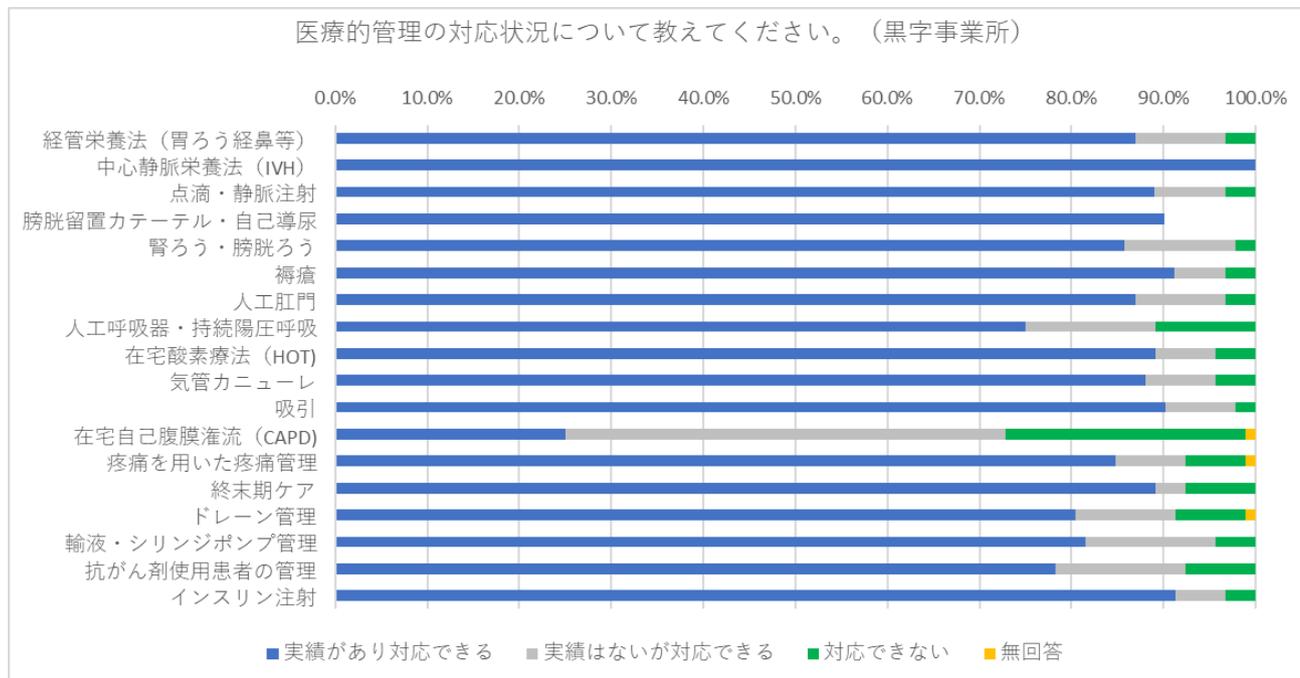
問14 医療的管理の対応状況について教えてください。	(北部医療圏における事業所割合)		(n=12) (単位：%)		
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答	
経管栄養法（胃ろう、経鼻等）	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	
中心静脈栄養法（IVH）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
点滴・静脈注射	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	
膀胱留置カテーテル・自己導尿	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	
腎ろう・膀胱ろう	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
褥瘡	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	
人工肛門	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	
在宅酸素療法（HOT）	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	
気管カニューレ	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	
吸引	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	
在宅自己腹膜灌流（CAPD）	41.7%	33.3%	25.0%	0.0%	
麻薬を用いた疼痛管理	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	
終末期ケア	75.0%	16.7%	8.3%	0.0%	
ドレーン管理	50.0%	41.7%	8.3%	0.0%	
輸液・シリンジポンプ管理	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	
抗がん剤使用患者の管理	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%	
インスリン注射	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



続いて、黒字ステーションと赤字ステーションの医療的管理の対応を比較すると、赤字ステーションは、人工呼吸器・持続陽圧呼吸、気管カニューレ等重症度の高い医学的管理について、実績があり対応できるとする割合が低い結果となった。また、ドレーン管理や抗がん剤使用患者の管理実績も黒字ステーションと比較すると若干低値を示している。

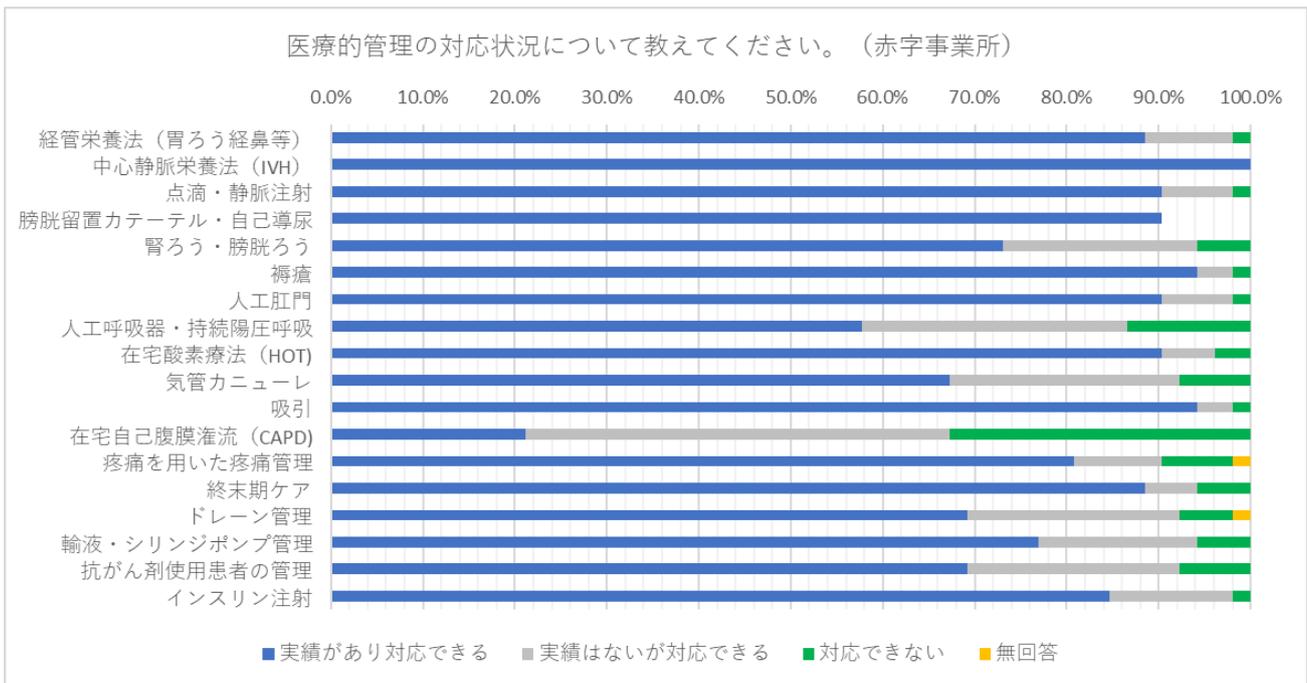
[黒字]

問14 医療的管理の対応状況について教えてください。	(黒字事業所における割合)			(単位：%)
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法（胃ろう経鼻等）	87.0%	9.8%	3.3%	0.0%
中心静脈栄養法（IVH）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
点滴・静脈注射	89.0%	7.7%	3.3%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	90.1%	0.0%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	85.7%	12.1%	2.2%	0.0%
褥瘡	91.2%	5.5%	3.3%	0.0%
人工肛門	87.0%	9.8%	3.3%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	75.0%	14.1%	10.9%	0.0%
在宅酸素療法（HOT）	89.1%	6.5%	4.3%	0.0%
気管カニューレ	88.0%	7.6%	4.3%	0.0%
吸引	90.2%	7.6%	2.2%	0.0%
在宅自己腹膜灌流（CAPD）	25.0%	47.8%	26.1%	1.1%
疼痛を用いた疼痛管理	84.8%	7.6%	6.5%	1.1%
終末期ケア	89.1%	3.3%	7.6%	0.0%
ドレーン管理	80.4%	10.9%	7.6%	1.1%
輸液・シリンジポンプ管理	81.5%	14.1%	4.3%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	78.3%	14.1%	7.6%	0.0%
インスリン注射	91.3%	5.4%	3.3%	0.0%



[赤字]

問14 医療的管理の対応状況について教えてください。	(赤字事業所における割合)			(単位：%)
	実績があり対応できる	実績はないが対応できる	対応できない	無回答
経管栄養法（胃ろう経鼻等）	88.5%	9.6%	1.9%	0.0%
中心静脈栄養法（IVH）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
点滴・静脈注射	90.4%	7.7%	1.9%	0.0%
膀胱留置カテーテル・自己導尿	90.4%	0.0%	0.0%	0.0%
腎ろう・膀胱ろう	73.1%	21.2%	5.8%	0.0%
褥瘡	94.2%	3.8%	1.9%	0.0%
人工肛門	90.4%	7.7%	1.9%	0.0%
人工呼吸器・持続陽圧呼吸	57.7%	28.8%	13.5%	0.0%
在宅酸素療法（HOT）	90.4%	5.8%	3.8%	0.0%
気管カニューレ	67.3%	25.0%	7.7%	0.0%
吸引	94.2%	3.8%	1.9%	0.0%
在宅自己腹膜灌流（CAPD）	21.2%	46.2%	32.7%	0.0%
疼痛を用いた疼痛管理	80.8%	9.6%	7.7%	1.9%
終末期ケア	88.5%	5.8%	5.8%	0.0%
ドレーン管理	69.2%	23.1%	5.8%	1.9%
輸液・シリンジポンプ管理	76.9%	17.3%	5.8%	0.0%
抗がん剤使用患者の管理	69.2%	23.1%	7.7%	0.0%
インスリン注射	84.6%	13.5%	1.9%	0.0%

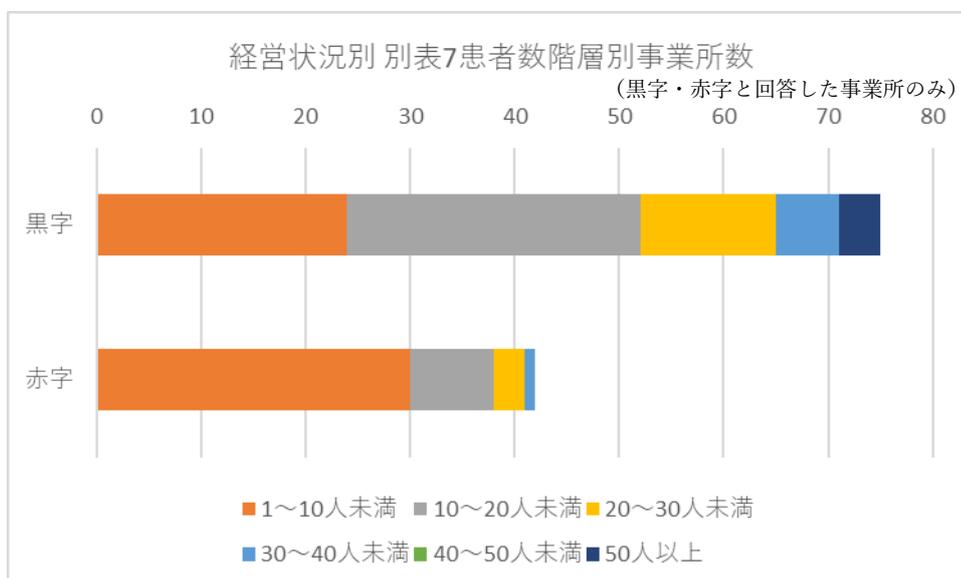
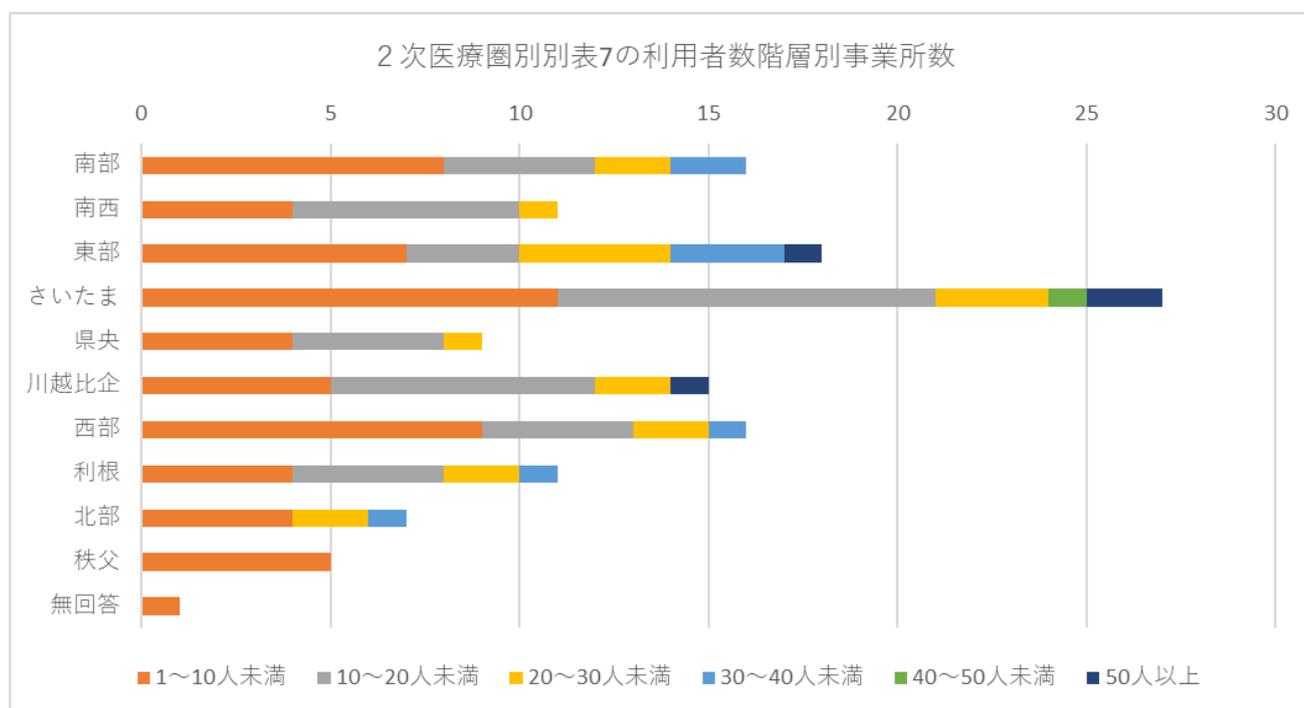


問 15 重症度が高い患者の受入れ状況について教えてください。

※令和2年3月中(3月1日～3月31日)の特掲診療科等の施設基準別表7、別表8の利用者数

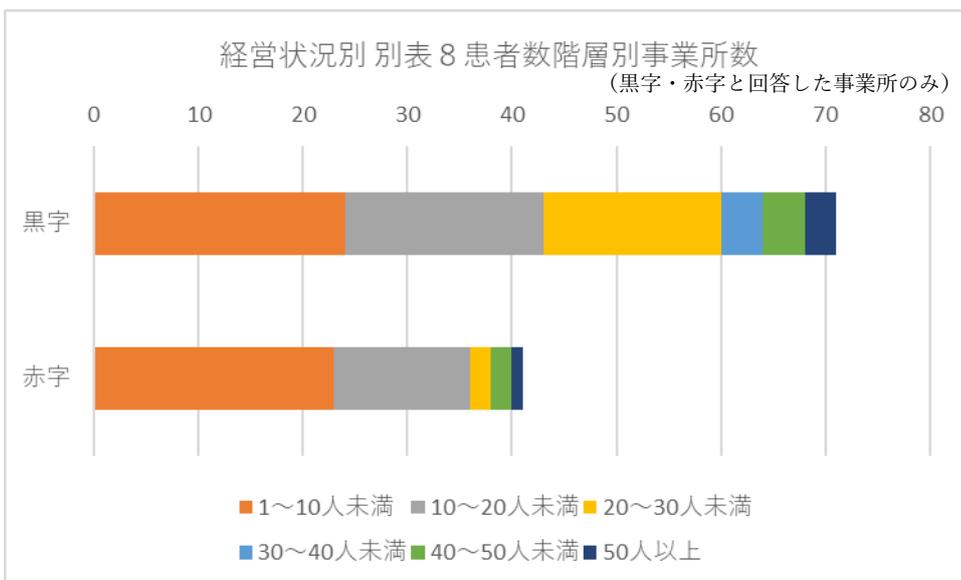
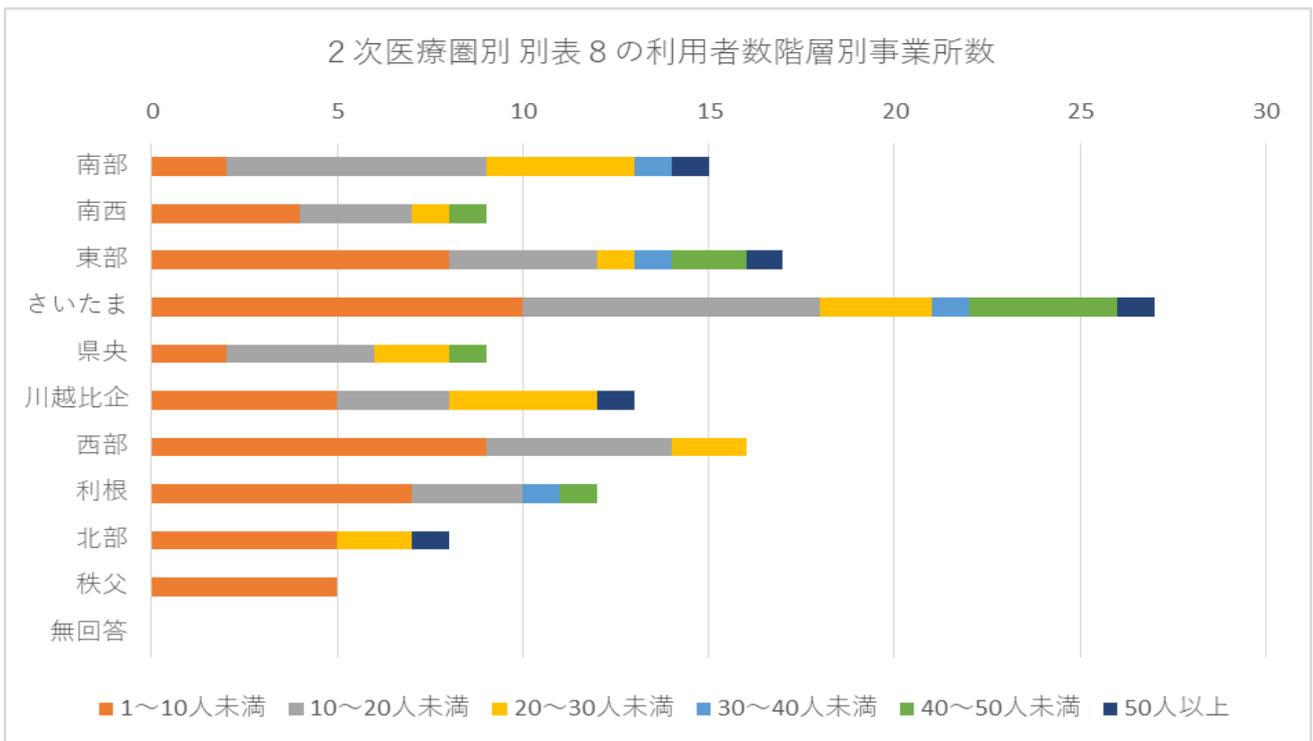
【特掲診療科等の施設基準別表7関係】

問15 重症度が高い患者の受け入れ状況について教えてください。(2次医療圏別別表7の利用者数階層別事業所数) (n=136) (単位:事業所)													左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
受入人数	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	136	16	11	18	27	9	15	16	11	7	5	1	75	42	16	2	1
1~10人未満	62	8	4	7	11	4	5	9	4	4	5	1	24	30	7	1	0
10~20人未満	42	4	6	3	10	4	7	4	4	0	0	0	28	8	5	0	1
20~30人未満	19	2	1	4	3	1	2	2	2	2	0	0	13	3	3	0	0
30~40人未満	8	2	0	3	0	0	0	1	1	1	0	0	6	1	1	0	0
40~50人未満	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
50人以上	4	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0



**[特掲診療科等の施設基準別表8関係]**

問15 重症度が高い患者の受け入れ状況について教えてください。(2次医療圏別 別表8の利用者数階層別事業所数)(n=131) (単位:事業所)													左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	131	15	9	17	27	9	13	16	12	8	5	0	71	41	16	2	1
1~10人未満	57	2	4	8	10	2	5	9	7	5	5	0	24	23	10	0	0
10~20人未満	37	7	3	4	8	4	3	5	3	0	0	0	19	13	3	1	1
20~30人未満	19	4	1	1	3	2	4	2	0	2	0	0	17	2	0	0	0
30~40人未満	4	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0
40~50人未満	9	0	1	2	4	1	0	0	1	0	0	0	4	2	2	1	0
50人以上	5	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	3	1	1	0	0

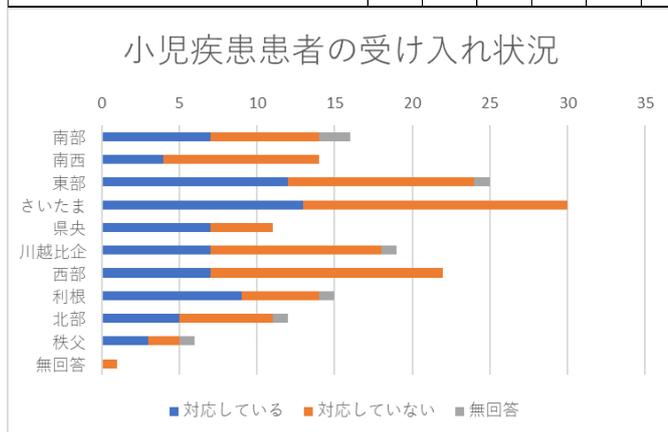


重症度の高い利用者の受入が50人以上の事業所がある医療圏は、さいたま、川越比企、南部、東部、北部であった。50人以上の事業所がない医療圏は、南西部、県央、西部、利根、秩父であった。

**問 16 小児疾患患者(超重症児、準超重症児に限らない)の受け入れ状況について教えてください。**

**※令和2年3月中(3月1日～3月31日)の利用者数、訪問回数**

問16 小児患者受け入れ状況を教えてください。(2次医療圏別集計) (n=171) (単位:事業所)													左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	7	1
対応している	74	7	4	12	13	7	7	7	9	5	3	0	49	19	5	0	1
対応していない	90	7	10	12	17	4	11	15	5	6	2	1	40	31	14	5	0
無回答	7	2	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	3	2	0	2	0



問16 小児患者受け入れ状況を教えてください。(2次医療圏別 回答割合集計) (n=171) (単位:%)													左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
対応している	43.5%	43.8%	28.6%	48.0%	43.3%	63.6%	36.8%	31.8%	60.0%	41.7%	50.0%	0.0%	53.3%	36.5%	26.3%	0.0%	100.0%
対応していない	52.4%	43.8%	71.4%	48.0%	56.7%	36.4%	57.9%	68.2%	33.3%	50.0%	33.3%	100.0%	43.5%	59.6%	73.7%	71.4%	0.0%
無回答	4.1%	12.5%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	6.7%	8.3%	16.7%	0.0%	3.3%	3.8%	0.0%	28.6%	0.0%

小児訪問看護の対応では県央、利根、秩父医療圏で50%以上になっているが、他の医療圏では50%以下で対応しているステーション数が少なく、今後の大きな課題と言える。

**【利用者数】 令和2年3月中(3月1日～3月31日)**

問16 対応している事業所の利用者数 (2次医療圏別集計) (単位:人)												
	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	合計
(超重症児)利用者数:	12	6	15	20	8	10	7	3	2	1	0	84
(準超重症児)利用者数:	12	3	11	24	4	11	1	5	8	1	0	80
(その他)利用者数:	27	27	29	36	20	13	5	9	11	4	0	181
合計	51	36	55	80	32	34	13	17	21	6	0	345

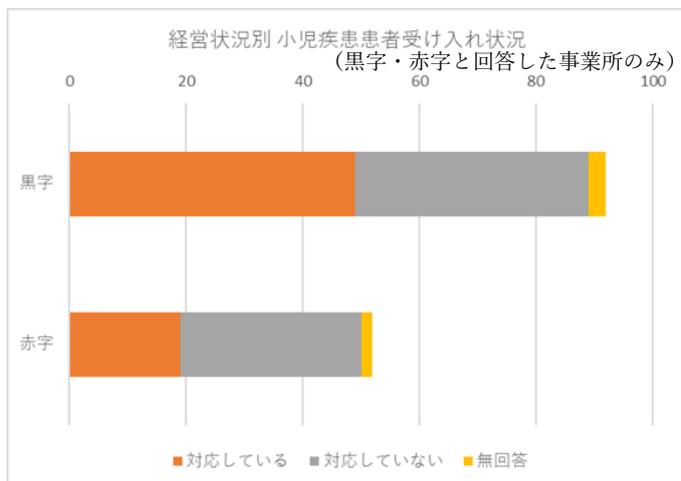
**【訪問回数】 令和2年3月中(3月1日～3月31日)**

問16 対応している事業所の訪問回数 (2次医療圏別集計) (単位:回)												
単純集計	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	合計
2次医療圏別訪問回数	118	188	263	732	148	193	61	107	91	33	0	1,934

1事業所当たり平均	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	県全体
対応している事業所の平均訪問回数 (n=74)	17	47	22	56	21	28	9	12	18	11	0	26

**[経営状況別の小児疾患患者受け入れ状況]**

※黒字・赤字と回答した事業所のみの集計



**問 16-② 小児疾患患者に対応している場合、対応する上での課題を教えてください。(複数回答可)**

問16-② 小児疾患患者に対応している場合の対応する上での課題 (複数回答可)	
イ 病状だけではなく、成長に合わせたケアを行うことが難しい。	42
ロ 地域で訪問診療を行っている医療機関が少ない。	42
ハ 小児訪問看護は難病等の特殊性・個別性が高いため、医療的ケアに不安がある。	39
ニ 小児在宅医療に関わる職種（医療、福祉、教育）が多く、連携を取るのが難しい。	39
ホ 小児の地域支援についての制度や法律が複雑である。	39
ヘ レスパイト先の確保が難しい。	36
ト 親との関わり方が難しい。	25
チ その他（表外に記載）	6

※チ その他

- ・地域で小児を受け入れる介護職員が少ない
- ・特別支援学校や日中一時活動後の訪問を希望される事が多く、ステーションの終業時間と合いにくい。 沢山の子ども達を受け入れることができない。
- ・成長に伴い(進学)訪看の必要性がないと感じる場合の卒業の時期 親にどう伝えるか
- ・兄弟の行事等の1時間半を超える留守番や連日訪問の希望への対応、入退院等の急なキャンセルが多い
- ・課題はありません

問 16-③ 小児疾患患者に対応していない場合、対応していない理由を教えてください。(複数回答可)

問16-③ 小児疾患患者に対応していない場合、対応していない理由	(複数回答可)
ア スタッフが少なく、対応できない。	21
イ 人数的に対応可能だが、経験や技術が不足している。	20
ウ 対応できるが、紹介がない。	14
エ 経営判断により対応していない。	10
オ その他(表外に記載)	7

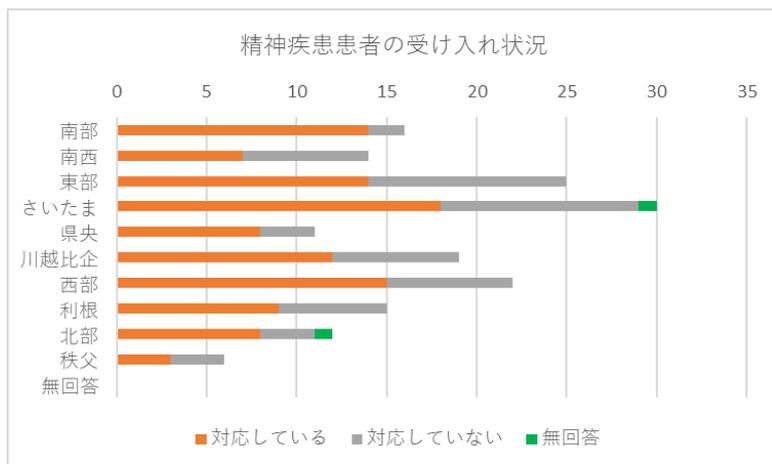
※オ その他

- ・高齢者有料老人ホーム内のため。
- ・新規がいなかった。
- ・登録をしていない
- ・開業前のため
- ・転居で0人になってしまった
- ・科が違う為

**問 17 精神疾患患者の受け入れ状況を教えてください。**

**※令和2年3月中(3/1～3/31)の利用者数、訪問回数**

問17 精神疾患患者の受け入れ状況を教えてください。(2次医療圏別集計) (n=171) (単位:事業所)	左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)																
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	6	2
対応している	108	14	7	14	18	8	12	15	9	8	3	0	70	29	8	1	0
対応していない	60	2	7	11	11	3	7	7	6	3	3	0	22	23	10	5	0
無回答	3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	2



問17 精神疾患患者の受け入れ状況を教えてください。(2次医療圏別 回答割合集計) (n=171) (単位:事業所)	左の表の経営状況別集計 (単位:%)																
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
対応している	63.2%	87.5%	50.0%	56.0%	60.0%	72.7%	63.2%	68.2%	60.0%	66.7%	50.0%	0.0%	76.1%	55.8%	42.1%	16.7%	0.0%
対応していない	35.1%	12.5%	50.0%	44.0%	36.7%	27.3%	36.8%	31.8%	40.0%	25.0%	50.0%	0.0%	23.9%	44.2%	52.6%	83.3%	0.0%
無回答	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%

**【利用者数】 令和2年3月中(3月1日～3月31日)**

問17 対応している事業所の利用者数 (2次医療圏別集計) (単位:人)	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	合計
利用者数	88	65	294	225	75	246	155	353	61	174	0	1,736

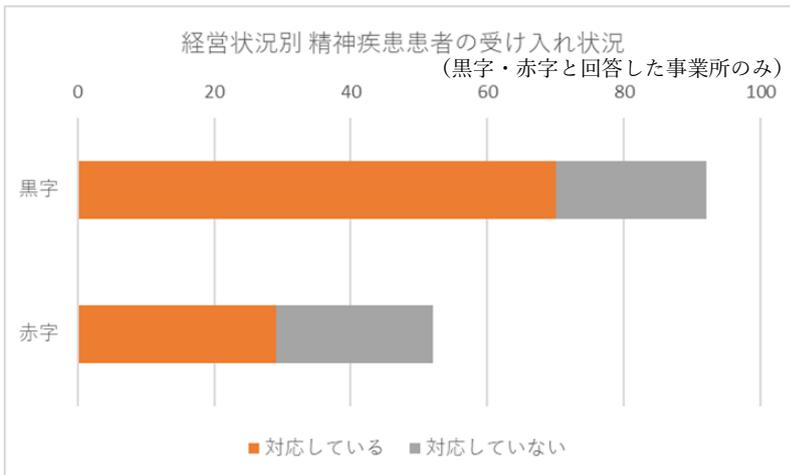
**【訪問回数】 令和2年3月中(3月1日～3月31日)**

問17 対応している事業所の訪問回数 (2次医療圏別集計) (単位:回)	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	合計
単純集計												
訪問回数	550	250	1,419	1,573	328	1,943	815	1,449	407	434	0	9,168

1事業所当たり平均	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	県全体
対応している事業所の平均訪問回数 (n=108)	39	36	101	87	41	162	54	161	51	145	0	85

**[経営状況別の精神疾患患者受け入れ状況]**

※黒字・赤字と回答した事業所のみの集計



**問 17-② 精神疾患患者に対応している場合、対応する上での課題を教えてください。(複数回答可)**

問17-② 精神疾患患者に対応している場合の対応する上での課題 (複数回答可)	
イ 精神症状悪化時の対応が難しい(危険を伴う等)	65
ロ コミュニケーション・信頼関係構築が難しい。	53
ハ 身体管理が難しく、効果が見えにくい。	45
ニ 拒否・キャンセル、頻回・長時間の訪問や電話対応等により採算が合わない。	39
ホ 患者の家族から協力を得ることが難しい。	32
ヘ 専門医や主治医、行政機関との連携が難しい。	27
ト 単独訪問が不安であるが、複数名で訪問を行う人的余裕がない。	24
チ その他(表外に記載)	3

※チ その他

- ・限られた人員でしか対応できないため、不測の事態などの対応が難しい。
- ・対象となる方の関連機関(計画相談事業所)との方向性の相違が多々ある。
- ・課題はありません

問 17-③ 精神疾患患者に対応していない場合、対応していない理由を教えてください。(複数回答可)

問17-③ 精神疾患患者に対応していない場合、対応していない理由	(複数回答可)
ア スタッフが少なく、対応できない。	24
イ 経営判断により対応していない。	18
ウ 人数的に対応可能だが、経験や技術が不足している。	17
エ 受け入れ態勢は整っているが、紹介がない。	7
オ その他 (表外に記載)	8

※オ その他

- ・依頼なし。
- ・登録をしていない
- ・統合失調症、うつ病、認知症、パーキンソン病等を持つ利用者の対応はしていますが、介護保険でサービス提供している。ただ単に精神疾患の利用者を回答すれば良いのか迷ったため”対応していない”とした。
- ・精神科の経験者がいない
- ・算定要件を満たしていない。研修に参加したスタッフが少ない。
- ・近隣に精神専門の訪看が数ヶ所ある
- ・開業前のため

精神科対応のステーションは 63.2%で、対応していないステーション 35.1%を上回っている。

精神疾患の利用者を受け入れる課題は、精神症状悪化の時の対応、コミュニケーション、信頼関係の確保が困難となっている。

対応していない理由は、人員不足による対応、経営判断によって、知識・技術の不足となっている。

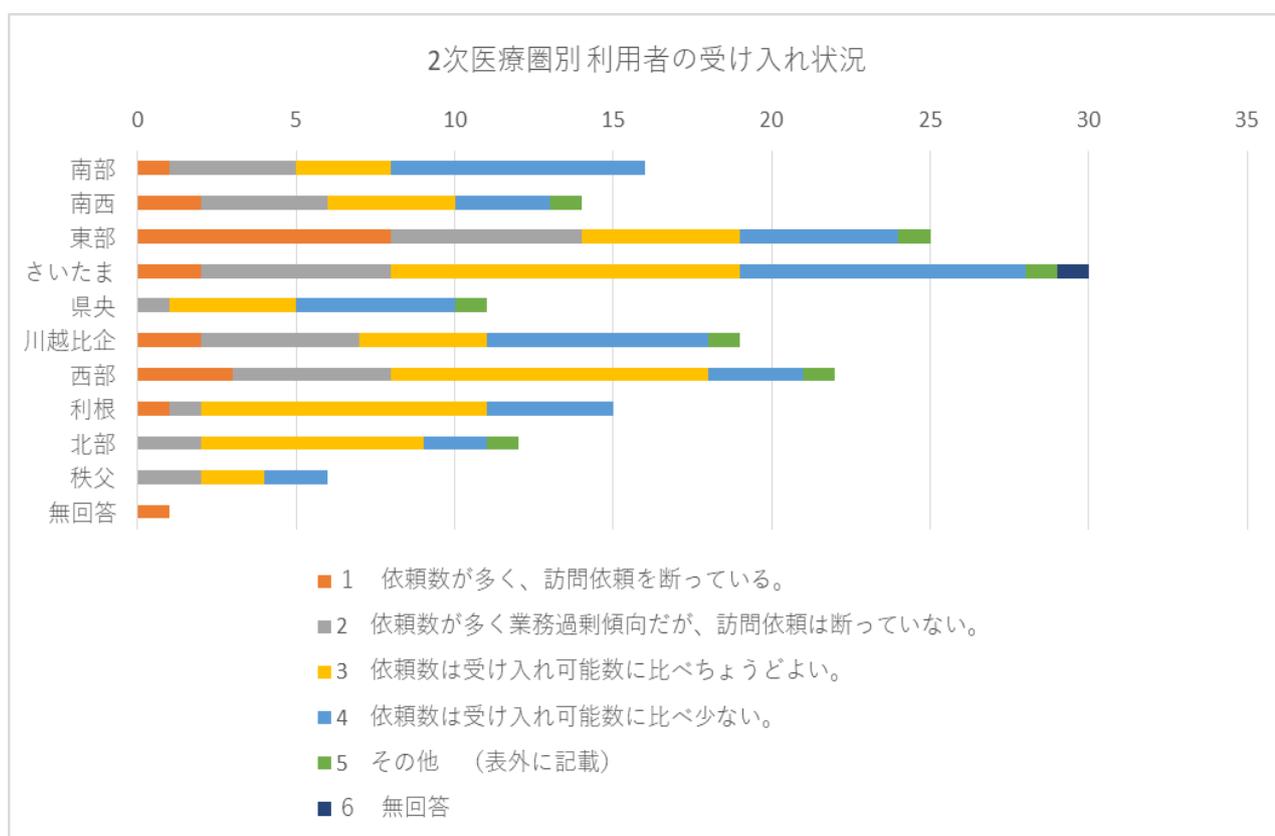
訪問回数は、川越比企、さいたま、利根、東部の順に多くなっている。

この地域は、比較的大規模な精神科の医療機関がある地域である。

#### 4. 経営状況等について

##### 問 18 現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください。

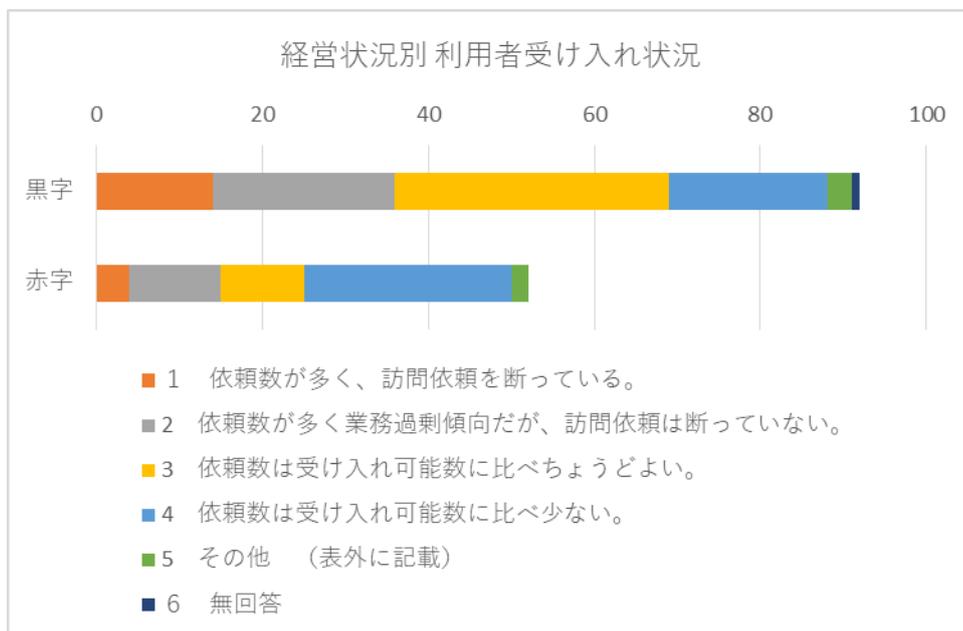
問18 現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください。	(2次医療圏別集計) (n=171) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	6	2
1 依頼数が多く、訪問依頼を断っている。	20	1	2	8	2	0	2	3	1	0	0	1	14	4	2	0	0
2 依頼数が多く業務過剰傾向だが、訪問依頼は断っていない。	36	4	4	6	6	1	5	5	1	2	2	0	22	11	3	0	0
3 依頼数は受け入れ可能数に比べちょうどよい。	59	3	4	5	11	4	4	10	9	7	2	0	33	10	12	2	2
4 依頼数は受け入れ可能数に比べ少ない。	48	8	3	5	9	5	7	3	4	2	2	0	19	25	2	2	0
5 その他 (表外に記載)	7	0	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	3	2	0	2	0
6 無回答	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0



問18 現在の事業所の利用者受け入れ状況について教えてください。	(2次医療圏別回答割合) (n=171) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 依頼数が多く、訪問依頼を断っている。	11.2%	6.3%	14.3%	32.0%	6.7%	0.0%	10.5%	13.6%	6.7%	0.0%	0.0%	100.0%	15.2%	7.7%	10.5%	0.0%	0.0%
2 依頼数が多く業務過剰傾向だが、訪問依頼は断っていない。	21.2%	25.0%	28.6%	24.0%	20.0%	9.1%	26.3%	22.7%	6.7%	16.7%	33.3%	0.0%	23.9%	21.2%	15.8%	0.0%	0.0%
3 依頼数は受け入れ可能数に比べちょうどよい。	34.7%	18.8%	28.6%	20.0%	36.7%	36.4%	21.1%	45.5%	60.0%	58.3%	33.3%	0.0%	35.9%	19.2%	63.2%	33.3%	100.0%
4 依頼数は受け入れ可能数に比べ少ない。	28.2%	50.0%	21.4%	20.0%	30.0%	45.5%	36.8%	13.6%	26.7%	16.7%	33.3%	0.0%	20.7%	48.1%	10.5%	33.3%	0.0%
5 その他 (表外に記載)	4.1%	0.0%	7.1%	4.0%	3.3%	9.1%	5.3%	4.5%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	3.3%	3.8%	0.0%	33.3%	0.0%
6 無回答	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

## [経営状況別 利用者受け入れ状況]

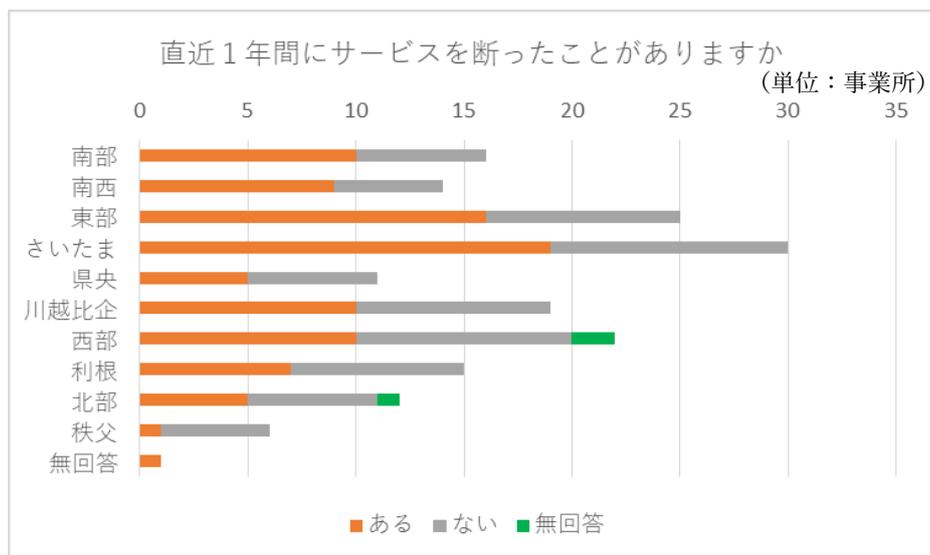
※黒字、赤字と回答した事業所のみの集計



依頼数が多い事業所は、少ない事業所に比べて黒字の割合が高かった。

**問 19 直近 1 年間(令和元年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)において、サービス提供を断ったことがありますか。**

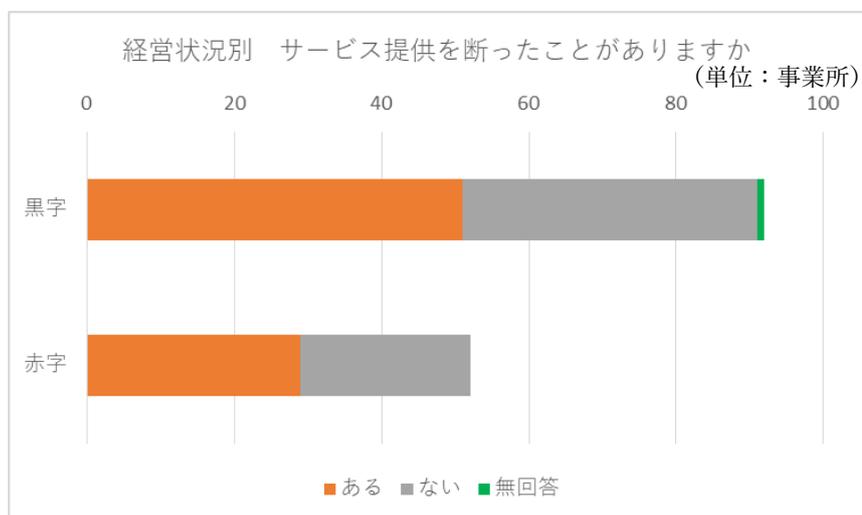
	問19 直近1年間(平成31年4月1日～令和2年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。(2次医療圏別集計) (n=171) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	6	2
ある	93	10	9	16	19	5	10	10	7	5	1	1	51	29	13	0	0
ない	75	6	5	9	11	6	9	10	8	6	5	0	40	23	6	6	0
無回答	3	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	2



	問19 直近1年間(平成31年4月1日～令和2年3月31日)において、サービス提供を断ったことがありますか。(2次医療圏別回答割合) (n=171) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ある	54.1%	62.5%	64.3%	64.0%	63.3%	45.5%	52.6%	45.5%	46.7%	41.7%	16.7%	100.0%	55.4%	55.8%	68.4%	0.0%	0.0%
ない	44.1%	37.5%	35.7%	36.0%	36.7%	54.5%	47.4%	45.5%	53.3%	50.0%	83.3%	0.0%	43.5%	44.2%	31.6%	100.0%	0.0%
無回答	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

**[経営状況別 利用者受け入れ状況]**

※黒字、赤字と回答した事業所のみを集計



問19-② サービス提供を断った理由は何ですか。(断ったことがあると回答した場合のみ回答)  
(複数回答可)

※表中の割合は、「断ったことがある」と回答した 93 事業所に占める割合

問19 断ったことがある場合、断った理由 (複数回答可)	(n=93)	
	事業所数	割合
ア 職員不足により、対応できなかった。	55	59.1%
イ 移動距離が長かったため。	47	50.5%
ウ サービス (医療処理等) 内容が対応困難だったため。	16	17.2%
エ その他 (表外に記載)	13	14.0%

※エ その他

- ・訪問エリア外のため
- ・スタッフが病休になった時
- ・訪問エリア外のため、他事業所へ依頼
- ・訪問可能日と利用者のスケジュールが合わなかった
- ・精神疾患にて対応困難なことがあった
- ・時間指定があり、その時間の対応が困難だったため
- ・精神科専門のステーションを紹介した。
- ・当該医師との連携に不安を感じた為
- ・毎日夜間に 2 回訪問の依頼であったため
- ・利用希望日と当方の空き状況がマッチしなかった。
- ・土日(休みの日)訪問依頼

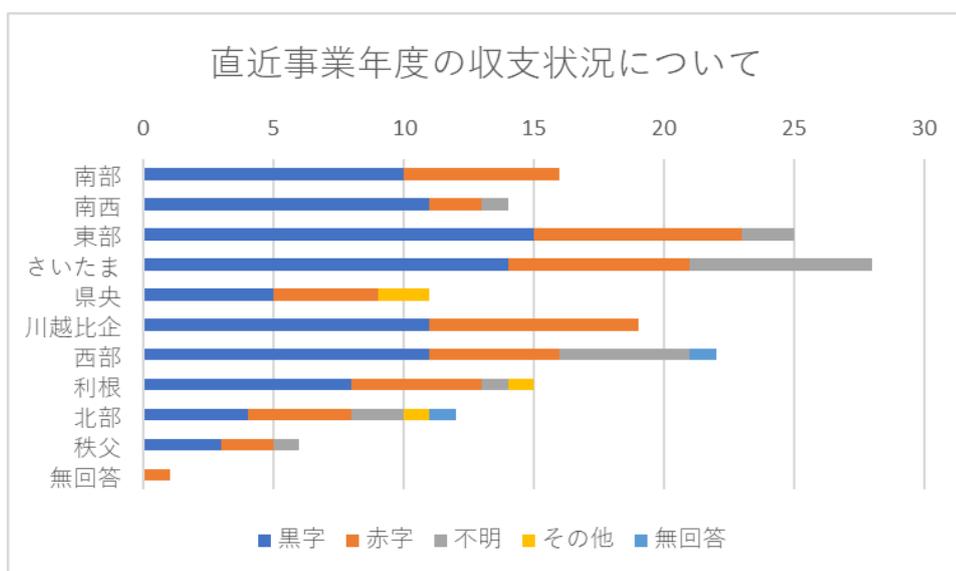
サービス提供を断ったことがあるか否かについては、県南部地域では 50%以上の事業所が断ったことがあると回答しているが、利根、県央以北の地域では職員数も少なく小規模の事業所が多いにもかかわらず、断ったことのない事業所の方が多くなっている。

県南部では供給より需要が上回っていることが考えられ、ステーション数の増大や既存の事業所のさらなる規模拡大が望まれると考えられる。

問 20 直近の事業年度末決算(令和元年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)における収支状況※について教えてください。

※法人本体等からの運営費交付金等を除いた、訪問看護ステーション単体の収支

問20 直近の事業年度末決算における収支状況について教えてください。(2次医療圏別集計) (n=171) (単位:事業所)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1
黒字	92	10	11	15	14	5	11	11	8	4	3	0
赤字	52	6	2	8	7	4	8	5	5	4	2	1
不明	19	0	1	2	7	0	0	5	1	2	1	0
その他	6	0	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0
無回答	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0



問20 直近の事業年度末決算における収支状況について教えてください。(2次医療圏別回答割合) (n=171) (単位:%)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
黒字	53.8%	62.5%	78.6%	60.0%	46.7%	45.5%	57.9%	50.0%	53.3%	33.3%	50.0%	0.0%
赤字	30.4%	37.5%	14.3%	32.0%	23.3%	36.4%	42.1%	22.7%	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%
不明	11.1%	0.0%	7.1%	8.0%	23.3%	0.0%	0.0%	22.7%	6.7%	16.7%	16.7%	0.0%
その他	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	18.2%	0.0%	0.0%	6.7%	8.3%	0.0%	0.0%
無回答	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%

**問 21 赤字の理由について教えてください。（問20で赤字と回答した場合のみ回答）（複数回答可）**

問21 赤字の理由について（複数回答可）	
イ 職員数に比べて利用者数（訪問回数）が少ない。	32
ロ 利用者数が少なく、安定的な収入が見込めない。	17
ハ 開業して間もないため。	15
ニ 不採算な事業の実施	0
ホ その他（枠外に記載）	8

**※ホ その他**

- ・関連施設がない為、同族紹介が少ない。
- ・見た目の職員数は多いが、子育て世代が多く子供の病気等で休業する職員が多く、穴埋めをする事を考えると Max の受け入れが出来ない。
- ・関連施設がない
- ・職員の入れ替わりが多い
- ・加算が取れない
- ・事務所移転のため経費が掛かった

**「利用者数（訪問回数）が少ない理由」を教えてください。**

**※問 21 で「イ 職員数に比べて利用者数（訪問回数）が少ない。」と回答した事業者のみ回答**

問21 訪問回数が少ない理由（問21で「イ」を選んだ場合のみ回答）（複数回答可）	
① 地域内にステーションが多いため。	17
② 移動距離が長いため。	5
③ その他（枠外に記載）	11

**※③その他**

- ・30分未満の訪問が多い

赤字の理由は「職員数に比べて利用者が少ない」「利用者が少なく、安定した収入が得られない」であった。

**問 22 赤字の補てん方法について教えてください。(「赤字」と回答した事業所のみ回答)(複数回答可)**

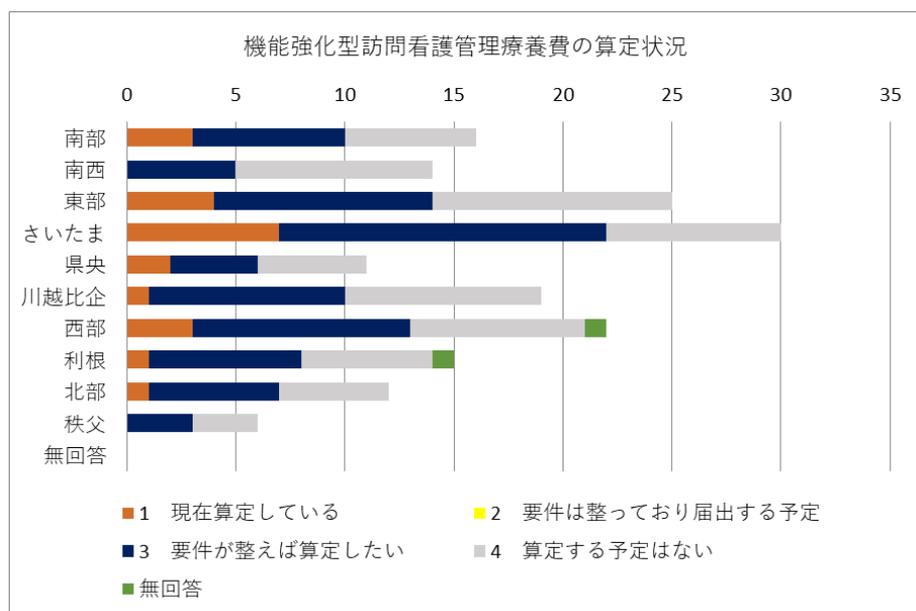
問22 赤字の補てん方法について教えてください。(2次医療圏別集計 赤字と回答した事業所のみ回答) (複数回答可)												
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答
全体	52	6	2	8	7	4	8	5	5	4	2	1
イ 法人本体や別会計から補てんしている。	41	4	2	7	3	3	7	3	5	4	2	1
ロ 特に補てんしていない。	7	2	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0
ハ その他 (表外に記載)	4	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0

**※ハ その他**

- ・代表から借入れ。
- ・融資を受ける。

**問 23 機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について教えてください。**

	問23 貴事業所における機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について (2次医療圏別集計) (n=170) (単位:事業所)												左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	170	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	0	92	52	19	6	1
1 現在算定している	22	3	0	4	7	2	1	3	1	1	0	0	14	2	5	1	0
2 要件は整っており届出する予定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 要件が整えば算定したい	76	7	5	10	15	4	9	10	7	6	3	0	44	22	7	2	1
4 算定する予定はない	70	6	9	11	8	5	9	8	6	5	3	0	32	28	7	3	0
無回答	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0



	問23 貴事業所における機能強化型訪問看護管理療養費の算定状況について (2次医療圏別割合) (n=170) (単位:%)												左の表の経営状況別集計 (単位:%)				
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1 現在算定している	12.9%	18.8%	0.0%	16.0%	23.3%	18.2%	5.3%	13.6%	6.7%	8.3%	0.0%	0.0%	15.2%	3.8%	26.3%	16.7%	0.0%
2 要件は整っており届出する予定	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3 要件が整えば算定したい	44.7%	43.8%	35.7%	40.0%	50.0%	36.4%	47.4%	45.5%	46.7%	50.0%	50.0%	0.0%	47.8%	42.3%	36.8%	33.3%	100.0%
4 算定する予定はない	41.2%	37.5%	64.3%	44.0%	26.7%	45.5%	47.4%	36.4%	40.0%	41.7%	50.0%	0.0%	34.8%	53.8%	36.8%	50.0%	0.0%
無回答	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※機能強化型訪問看護管理療養費の算定要件を満たしていない項目を教えてください。(複数回答可)  
 (問 23 で「3 要件が整えば算定したい」と回答した事業所のみ回答)

問23 算定要件を満たしていない項目 (複数回答可) (「3 要件が整えば算定したい」と回答した事業所のみ回答)	
イ 直近1年間のターミナルケア件数又は超重症児・準重症児の受入実績	46
ロ 常勤看護職員5人(7人)以上	45
ハ 居宅介護支援事業所又は相談支援事業所が同一敷地内に設置されていること	39
ニ 特掲診療科の施設基準等の別表第7の利用者数が月に7人(10人)以上	34
ホ 地域住民に対する情報提供や相談、人材育成のための研修の実施	32
ヘ 休日、祝日も含め計画的な指定訪問看護を行うこと	17
ト 24時間対応体制加算の届出	2

全体では、「現在算定している」が 12.9%、「要件が整えば」が 44.7%、「算定する予定はない」が 41.2%であった。

地域では、さいたま、南部、県央、東部の順に現在算定している事業所が多く、要件が整えば算定したいと回答している。

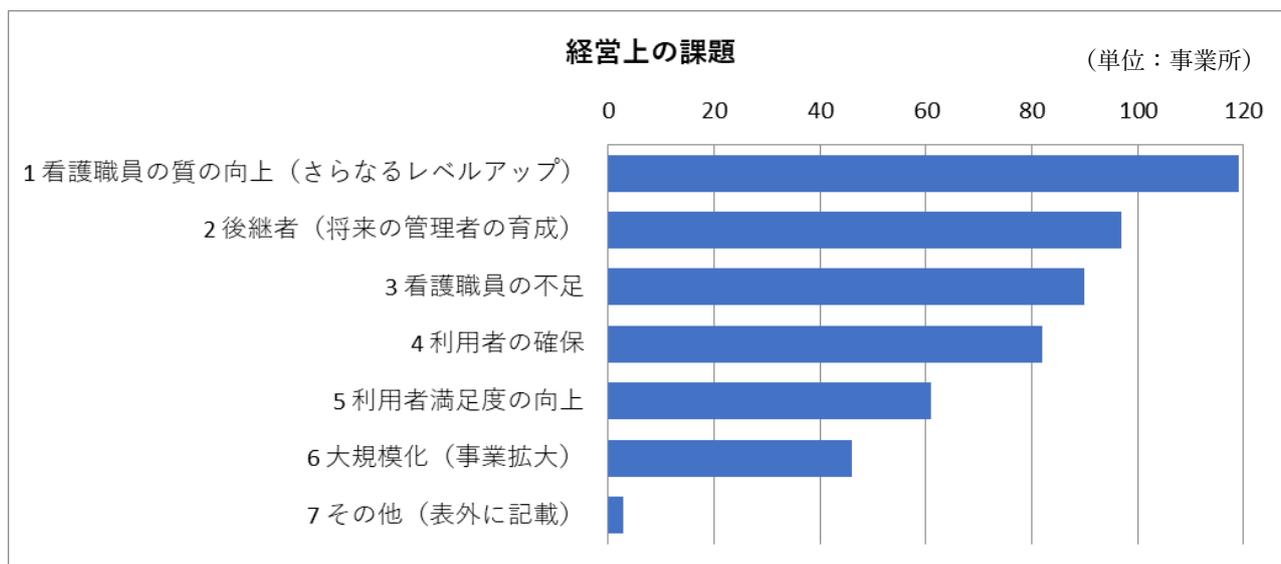
**問 24 経営上の課題について教えてください。(複数回答可)**

※表中の割合は、回答した 171 事業所に占める割合

問24 貴事業所の経営上の課題について教えてください。(複数回答可) n=171		
	事業所数	割合
1 看護職員の質の向上 (さらなるレベルアップ)	119	69.6%
2 後継者 (将来の管理者の育成)	97	56.7%
3 看護職員の不足	90	52.6%
4 利用者の確保	82	48.0%
5 利用者満足度の向上	61	35.7%
6 大規模化 (事業拡大)	46	26.9%
7 その他 (表外に記載)	3	1.8%

**※7 その他**

- ・特定施設内の高齢者多く、急変の可能性大である。
- ・訪問の効率化
- ・数年で退職予定の看護師がいるため、後任の看護師確保

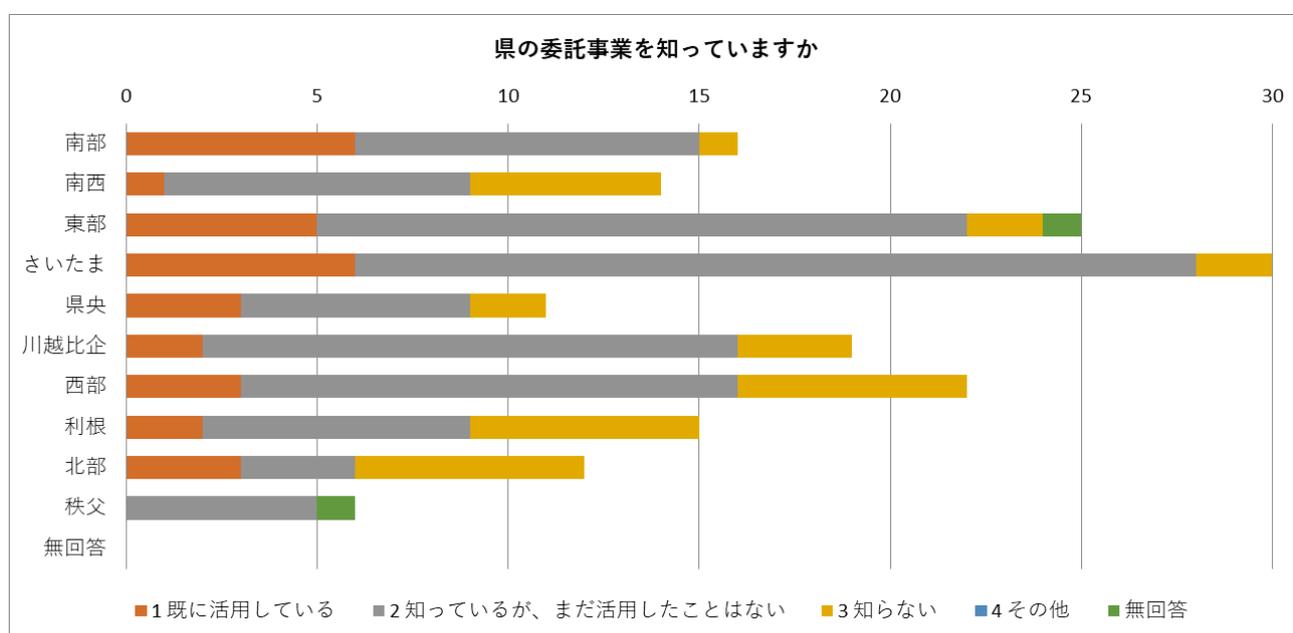


経営上の課題は、「看護職員の質の向上」「後継者の育成」「看護職員の不足」「利用者の確保」の順であった。

## 5. 訪問看護全般について

### 問 25 埼玉県の委託事業である「訪問看護相談窓口」「管理者相談窓口」「経営コンサルタントによる個別相談会」についてご存知ですか。

問25 埼玉県の委託事業「訪問看護相談窓口」「管理者相談窓口」「経営コンサルタントによる個別相談会」を知っていますか。(2次医療圏別集計) n=171 (単位:事業所)	左の表の経営状況別集計 (単位:事業所)																
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	171	16	14	25	30	11	19	22	15	12	6	1	92	52	19	6	2
1既に活用している	31	6	1	5	6	3	2	3	2	3	0	0	25	5	1	0	0
2知っているが、まだ活用したことはない	104	9	8	17	22	6	14	13	7	3	5	0	52	34	14	3	1
3知らない	33	1	5	2	2	2	3	6	6	6	0	0	14	13	3	3	0
4その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1



問25 埼玉県の委託事業「訪問看護相談窓口」「管理者相談窓口」「経営コンサルタントによる個別相談会」を知っていますか。(2次医療圏別事業所割合) n=171 (単位:%)	左の表の経営状況別集計 (単位:%)																
	全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父	無回答	黒字	赤字	不明	その他	無回答
全体	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1既に活用している	18.1%	37.5%	7.1%	20.0%	20.0%	27.3%	10.5%	13.6%	13.3%	25.0%	0.0%	0.0%	27.2%	9.6%	5.3%	0.0%	0.0%
2知っているが、まだ活用したことはない	60.8%	56.3%	57.1%	68.0%	73.3%	54.5%	73.7%	59.1%	46.7%	25.0%	83.3%	0.0%	56.5%	65.4%	73.7%	50.0%	50.0%
3知らない	19.3%	6.3%	35.7%	8.0%	6.7%	18.2%	15.8%	27.3%	40.0%	50.0%	0.0%	0.0%	15.2%	25.0%	15.8%	50.0%	0.0%
4その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.2%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	1.1%	0.0%	5.3%	0.0%	50.0%

訪問看護教育ステーションが置かれている南部、東部は、県からの委託事業について周知されているところが多い。

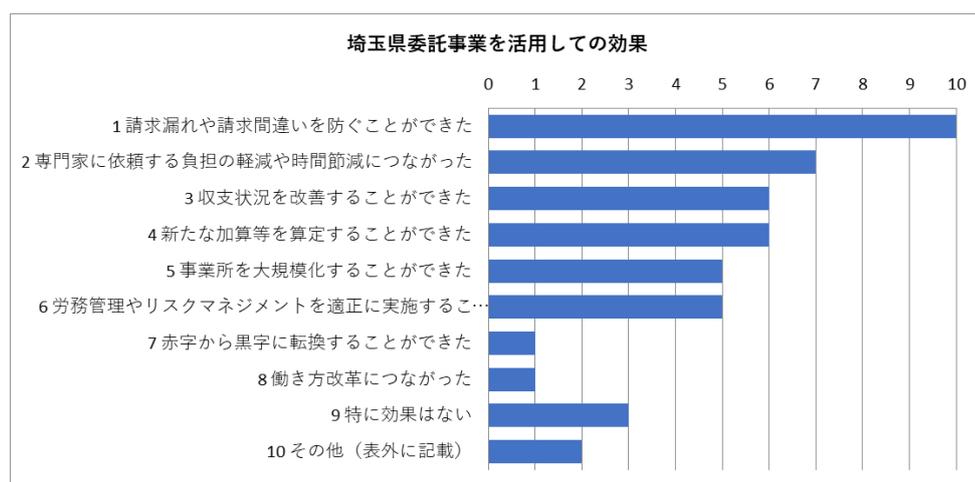
また、さいたまは、訪問看護ステーション協会が置かれているため、県からの委託事業が周知されている。

問 26 問 25 に記載の埼玉県の委託事業を活用してどのような効果があったか教えてください。  
 (複数回答可) (問 25 で「1 既に活用している」と回答した事業所のみ回答)

問26 埼玉県委託事業を活用してどのような効果があったか (複数回答可)	
1 請求漏れや請求間違いを防ぐことができた	10
2 専門家に依頼する負担の軽減や時間節減につながった	7
3 収支状況を改善することができた	6
4 新たな加算等を算定することができた	6
5 事業所を大規模化することができた	5
6 労務管理やリスクマネジメントを適正に実施することができた。	5
7 赤字から黒字に転換することができた	1
8 働き方改革につながった。	1
9 特に効果はない	3
10 その他 (表外に記載)	2

※10 その他

- ・新卒者教育に関する助言をいただいた。
- ・相談窓口には、疑問点等、相談させていただいております。



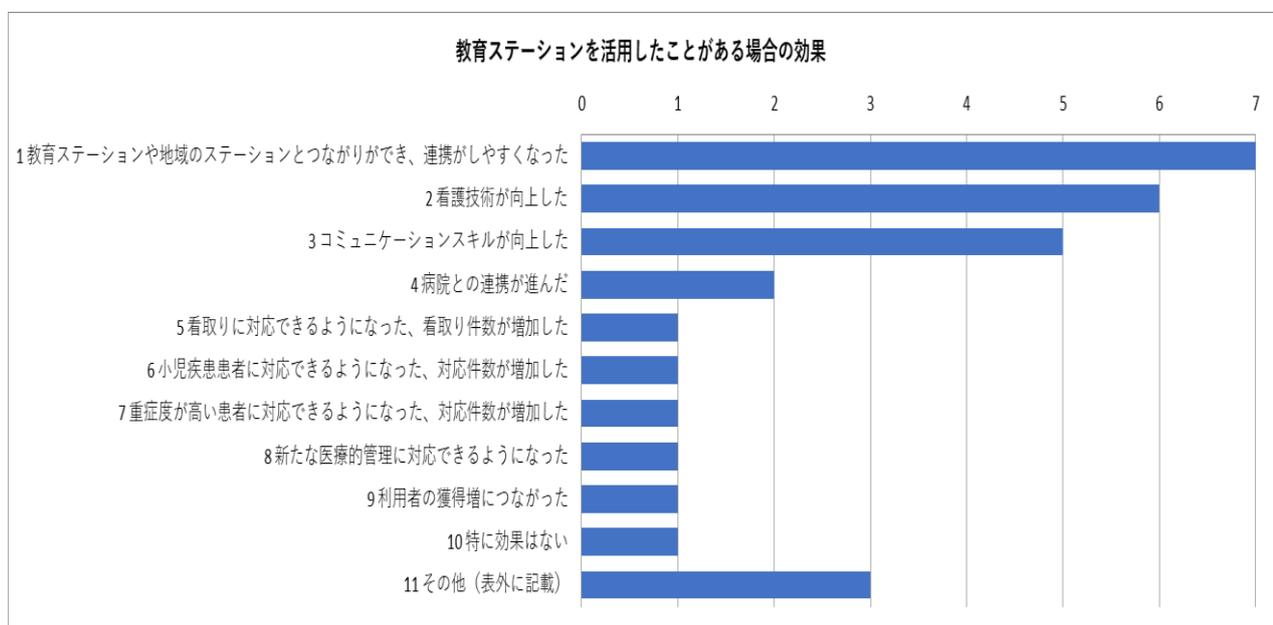
研修後の活用効果は、上記の結果であったが、「事業所を大規模化することができた」と回答した5つの事業所に注目したい。

問 27 「埼玉県訪問看護教育ステーション事業」を活用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。（複数回答可）（教育ステーション事業を活用したことがある場合のみ回答）

問27 教育ステーション事業を活用したことがある場合の効果 （複数回答可）	
1 教育ステーションや地域のステーションとつながりができ、連携がしやすくなった。	7
2 看護技術が向上した	6
3 コミュニケーションスキルが向上した	5
4 病院との連携が進んだ	2
5 看取りに対応できるようになった、看取り件数が増加した	1
6 小児疾患患者に対応できるようになった、対応件数が増加した	1
7 重症度が高い患者に対応できるようになった、対応件数が増加した	1
8 新たな医療的管理に対応できるようになった	1
9 利用者の獲得増につながった	1
10 特に効果はない	1
11 その他（表外に記載）	3

※11その他

- ・地域の訪問介護事業所や居宅介護支援事業所との連携しやすくなった。
- ・制度や病院との連携、クレーム対応についてアドバイス頂き対応した。
- ・当事業所が県からの委託を受けて、教育ステーション事業研修会を行っているので、効果はわかりません。



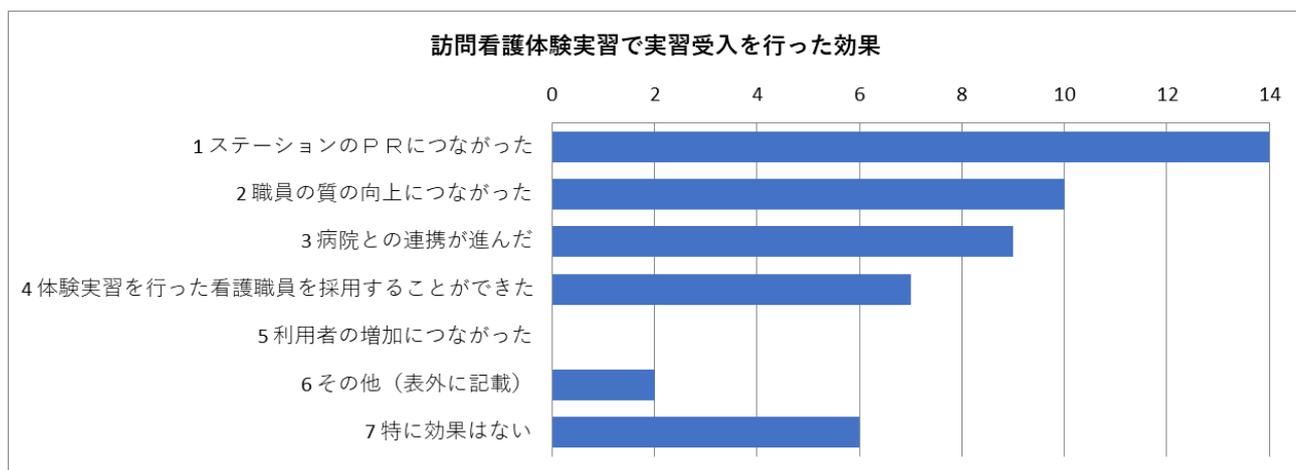
教育ステーションの効果として、「教育ステーションや地域のステーションとのつながりができ、連携がしやすくなった」「看護技術が向上した」「コミュニケーションスキルが向上した」などの教育ステーションが目指すところの回答が多く選択されている。

問 28 埼玉県の委託事業である「訪問看護体験実習」を活用したことがある場合、どのような効果があったか教えてください。(複数回答可) (訪問看護体験実習で実習受入を行った事業所のみ回答)

問28 県委託事業「訪問看護体験実習」で実習受入を行った効果 (複数回答可)	
1 ステーションのPRにつながった	14
2 職員の質の向上につながった	10
3 病院との連携が進んだ	9
4 体験実習を行った看護職員を採用することができた	7
5 利用者の増加につながった	0
6 その他(表外に記載)	2
7 特に効果はない	6

※6その他

- ・在宅療養の現状を理解してもらい、ステーション開業に至っている。
- ・高校1年生が実習にきて、訪問看護師に興味をもって頂きました。



問 28-② 訪問看護体験実習を行った結果、看護職員を採用することができた事業所における採用人数

問28-② 体験実習で実習受入を行った結果、採用することができた人数(2次医療圏別人数) (単位:人)										
全体	南部	南西	東部	さいたま	県央	川越比企	西部	利根	北部	秩父
7	1	0	1	4	0	0	1	0	0	0

県委託事業の「訪問看護体験実習」の効果は、「ステーションのPRになった」「職員の質の向上につながった」「病院との連携が進んだ」「体験実習を行った看護職員を採用することができた」という回答が多い。

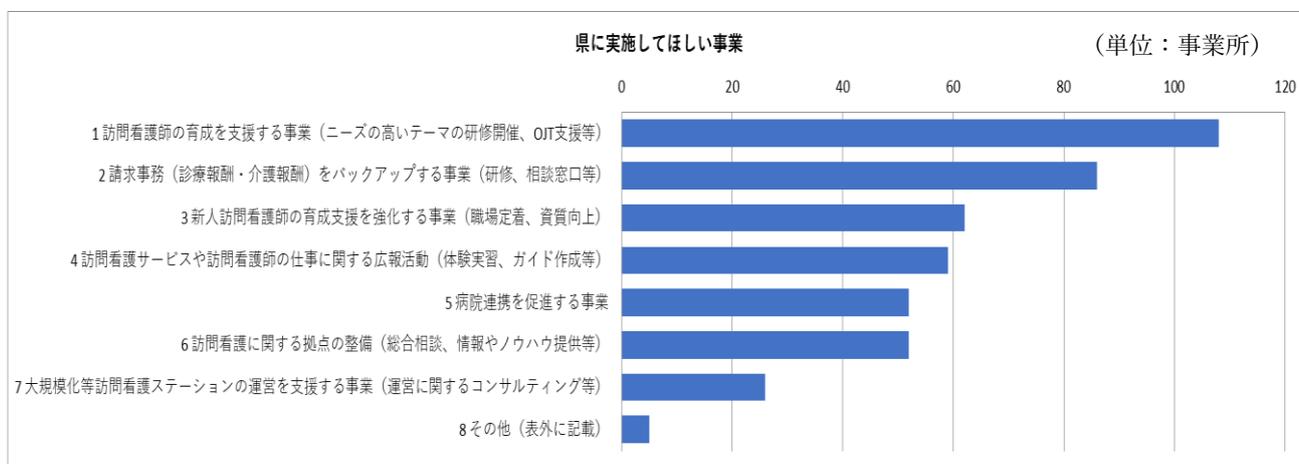
**問 29 訪問看護に関する県の取り組みとして、「実施してほしい」事業を教えてください。(複数回答可)**

※表中の割合は、回答した 160 事業所に占める割合

問29 訪問看護に関する県の取り組みとして、県に実施してほしい事業 (複数回答可) n=160		
	事業所数	割合
1 訪問看護師の育成を支援する事業 (ニーズの高いテーマの研修開催、OJT支援等)	108	67.5%
2 請求事務 (診療報酬・介護報酬) をバックアップする事業 (研修、相談窓口等)	86	53.8%
3 新人訪問看護師の育成支援を強化する事業 (職場定着、資質向上)	62	38.8%
4 訪問看護サービスや訪問看護師の仕事に関する広報活動 (体験実習、ガイド作成等)	59	36.9%
5 病院連携を促進する事業	52	32.5%
6 訪問看護に関する拠点の整備 (総合相談、情報やノウハウ提供等)	52	32.5%
7 大規模化等訪問看護ステーションの運営を支援する事業 (運営に関するコンサルティング等)	26	16.3%
8 その他 (表外に記載)	5	3.1%

**※8その他**

- ・訪問看護に特化した人材確保事業
- ・人材確保
- ・小規模ステーションが沢山でき、利用者の取り合いが始まっている。統廃合が上手く行くよう支援してほしい。
- ・現在実施されている取り組みを活用します



問 29-② 問 29 で「1 訪問看護師の育成を支援する事業」を選択した場合、以下の中で実施してほしい研修を教えてください。(複数回答可)

※表中の割合は、問 29 で「1 訪問看護師の育成を支援する事業」と回答した 108 事業所に占める割合

問29-② 訪問看護師の育成を支援する事業を希望する場合、以下で実施してほしい研修等 (複数回答可) n=108		
	事業所数	割合
イ 難病に関する研修	92	85.2%
ロ ターミナルケアに関する研修	80	74.1%
ハ 精神疾患に関する研修	71	65.7%
ニ 認知症に関する研修	67	62.0%
ホ 小児疾患に関する研修	64	59.3%
ヘ 他職種連携に関する研修	47	43.5%
ト OJT 支援	40	37.0%
チ 退院調整に関する研修	34	31.5%
リ その他	4	3.7%

#### ※リ その他

・訪問看護の専門的な研修 精神訪問看護・小児訪問看護・訪問看護管理者・難病・ターミナルケア・褥瘡・ストーマ等病院ではなく、在宅での専門的な研修が必要。

・現在実施されている事業を活用します。

・フィジカルアセスメント

実施してほしい研修として、「難病」「ターミナルケア」「精神疾患」「認知症」「小児疾患」等が多い。

問 30 訪問看護サービスの安定的な提供について、ご意見やご要望があればお聞かせください。

要望記述

- ・訪問看護の専門的な研修 精神訪問看護、小児訪問看護、訪問看護管理者、難病、ターミナルケア、褥瘡、ストマケア等病院ではなく、在宅での専門的な研修が必要。
- ・管理者によって、ステーションの質も左右される。訪問看護ステーションの管理者は管理者教育を受けていなくても制度上はなれる。良質な訪問看護サービスの提供には、管理者の教育・支援がまだまだ必要と思う。
- ・これからは、オンラインでの研修を増やして欲しい、そしてその分少しでも研修を安くしてほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため中止となっている研修を、受講できるよう要望いたします。
- ・訪問看護師の人員確保困難なため、新卒者を受け入れることになったのですが、訪問看護師としての新人教育に関し、資料が少なく、また、体験型の研修も少ない。実習や研修ができる病院施設がなく受け入れ先を探すのに時間とお金をかけなければならない。新人を1人前の訪問看護師に教育するには時間とお金がかかりすぎる。埼玉県看護協会のなかで、実習できる施設や病院を斡旋して頂いたり、国の方からも少し補助金を出していただく方法はないのか？と強く思います。
- ・当ステーションの看護師が 40・50 代の看護師です。  
若い看護師が働けるステーションにしていこうと模索しております。
- ・もし可能であるならば、介護保険更新などで 担当者会議に参加しておりますが、現状は何も算定はありません
- ・来年度、報酬改定ですが、もしも可能であるならば、担当者会議の参加の時間、1回何単位でもいいんです。少しでも つく加算をいただけたら・・・本来は ケア・支援できるのです。  
今後、算定できるように、声を上げたいです。どうぞよろしく願いいたします。
- ・経営者が設置基準を守る人材について理解なく困ってます。そういった相談窓口は何処にありますか？
- ・現在は、毎日のように人材紹介会社から電話がかかってくる。訪問看護を希望する人材はいるようなので、看護協会や訪問看護ステーション協会に人材バンクの役割を担っていただけると助かります。
- ・“より良い訪問看護サービスを提供し、事業所の経営が安定するためには、スタッフを含めた訪問看護制度の理解が必要だと思う。
- ・訪問看護ステーションの管理者の育成も課題だと思う。
- ・訪問看護ステーションの管理者にとって、経営状況を安定させるための重責は大きいと思う。
- ・24 時間 365 日安心を届けるための訪問看護サービスの魅力を、たくさんの看護職に、よりアピールできたらと思う。”
- ・駐車場が無い家、住宅街や駅前、緊急訪問時の臨時駐車に駐禁きられるのは嫌なので、医師みたいに緊急往診許可証がほしいです。”
- ・人材不足が解消されれば9割の問題が解決すると思います。緊急当番の負担の大きさも職員の定着に影響があります。オンコール手当など高くしたくても経営する法人の理解が得にくい。
- 訪問看護師育成と人材定着のために法人を納得させられるような説明資料を作っていただきたいです。

- ・現在のステーション運営では、オンコール者が夜間帯に出動があっても翌日確実に休みを取ることが難しくステーションごとの調整に任されていますが、今後の訪問看護人財を守るために労働体制について考えていかなければならない課題だと感じております。
- ・安定しない要因として、訪問看護の仕事とはどんなものかということがまだまだ周知されていない(医療機関、市民レベル双方に)ことが大きいと思います。また、緊急時一人で夜間や男性一人のいる自宅に赴くことへの危険性も対処すべき事項だと思っています。病院のような細やかな算定ができてくれば賃金が上がると思うので、前記の現状が改善され、賃金が上がれば自然に安定してくると思います。
- ・さらなる質の向上、意識の向上が必要。目的を共有かつ明確にすることでやりがいにもつながり、離職防止にもなると考える。

そのためにはカンファレンスが重要と考えるが、コロナ禍により、現在カンファレンスがしにくい状況であることが当ステーションの課題。リモート活用を検討中だが、資金の問題あり、補助などあればよいと思う。

また、体制強化加算をとれるように体制を整えることも大切。
- ・R2年5月に開設したばかりでお答えできない項目が多々あります。
- ・当事業所は令和2年7月より再開をしたため、上記未回答の項目がございます。